

【2014年】

■5月(夏)号 本誌 (592)

第34回大阪文学学校賞発表

〔選評〕高畠寛／奥野忠昭／長谷川龍生／中塚鞠子／葉山郁生／音谷健郎

●〈小説部門〉受賞作品…「お下げ髪の小夜」石井渉

●〈詩部門〉受賞作品…「記憶」畑章夫

【佳作】「娘」奥田寿子

【奨励賞】「報ひ」中林経城

●〈エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉該当作なし

掌編小説特集 テーマ「その先にあるもの」

海を見たかい 四宮秀二

目隠し 佐久間慶子

漂流 佐伯晋

春の下描 吉中みのり

彼方の塔(タワー) 鶴川澄弘

川男(かわおとこ) 中山文子

掌中の力 大沢綾子

海 稲村武久

誠のあなたの幸いのために 田中さるまる

新茶の味わい 前田美樹

川沿いの家 大槻睦子

夕暮れの街で 吉富敏朗

君の名は未来 平田基記

船は朝日にむかって 夏当紀子

ガ島にて 津木林洋

書評

高畠寛『神神の黄昏』佐伯晋

奥野忠昭『これだけを知っていれば小説は見違えるほどよくなる』

阿井フミオ

富上芳秀詩集『真言の座』 細見和之

谷口京子『桐家の人々』 日野範之

秀作の樹・個性の花

詩

大きな忘れ物 松本悦子

小説

鴨塚(ひよどりづか) 半澤恵子

サバンナの空 たらゆりね

小説同人誌評3 器用と不器用、その魅力

細見和之

詩時評5 巧みな詩と巧まざる詩と

苗村吉昭

■6月号 在校生作品特集号 (593)

詩

シュンちゃんの水筒 小寺俊江

足の記憶 宮浦久子

束ねられた記憶 美津島チタル

川を渡れ 角野裕美

秋の隙間 息子へ 宮地浩子

出会い 島すなみ

エッセイ

オンドル房の子守唄 ヘウ

トラのチカラ 朝倉昂

父のために 河畑富美子

小説

踊る内視鏡 山田文昭

マリッジリング 辻明依

ダワー君 松田久美子

表紙のことば 痕跡／松永アズサ

編集後記 高橋淳

■7月号 通信教育部作品集 (594)

□研究科／小説

明日へ 安藤 容子

弁当のうた 桐村緋佐子

執行猶予残り13日の男 西原 映字

蠅 梁 正志

□専科、研究科／小説1組

従兄妹どうし 藤田 友房

骸の花 霧野アキラ

夢の中から 内地シゲル

□専科、研究科／小説2組

二人でも一人 山本 朋美

魂光りし如く 川野 らほ

雪と寒椿 川端 豊子

□本科／小説2組

国語便覧 穂本 浩美

ホクロの話 吉岡 豊

夕陽を攻めおとす 小海 真

□本科／小説1組

オーバー・イート 千葉 海

待つ 林 裕美

□本科／小説3組+自分史

わたしの戦争体験 澤 美晴

昭和を生きて 里 よしこ

黄色いボール 岩崎 椿

百人になった村 吉(●土に口)田まつえ

きっかけ 鈴木 徹

約束の日は、明日 小林 真琴

□エッセイ・ノンフィクション2組

私の鞆考 谷口みゆき

やる気スイッチ 岩見美和子

呪い つちくも

□エッセイ・ノンフィクション1組

京王井の頭線途中下車の旅 西 清治

日本一忙しい水族館の秘密 小池 久

転職顛末記 山名 萌絵

□専科、研究科／詩・エッセイ

否定の塔 中林 経城

見る 朝比奈 昭

山羊は死んだか 吉田 稀

風景 いちのせまりえ

汚点(しみ) ドアノブ子

小春日和に 高樹 紫音

「先生…っ違、お父さーん」 宮城 ま咲

レッスン なんどう照子

サーモントラウト 山根 悠謳

孤人 加川 清一

□本科、専科／詩・エッセイ

川の情景 遠野まほろ

天使の微笑 高嶋 仁八

象の鼻テラス 松村 眞澄

母の一言 小寺 俊江

風景画 百藤 柝

六祖壇狂 岩根 拓行

雪起こし 今井 清博

ぬた和え 永田 俊也

継母考 三木もちゅう

コマツコさん 山花ゲンキ

父のこと 押領司孝子

□本科／詩・エッセイ

認知症劇的改善アロマ 松永アズサ

年末の雪の日 美津島チタル

みえるもの 渡邊 淑子

観音さま? 乃木 幸夫

静寂 オオナカヨウコ

■8月(秋)号 本誌 (595)

大阪文学学校創立六十周年記念特集

スライド 大阪文学学校60年の歩みと現在 小原政幸

記念講演会

私にとっての文学——小説で書けること、小説でしか書けないこと

姜尚中

エッセイ 文校六〇周年を共に祝いたい人たち

北川荘平、木辺弘児、村田拓 他 高畠寛

文学「地下人脈」、その精神のリレー——松岡、川崎、高村オマージュ

葉山郁生

文学学校の詩人たち——港野喜代子、金時鐘、倉橋健一を中心に

細見和之

秀作の樹・個性の花

小説

マグのいた場所 阿萬玲子

翻訳

母の生涯 丁(テイ)玲(レイ) 野田知子

小説同人誌評 4 構成への意識 細見和之

詩時評 6 読んでいませんが・・・ 苗村吉昭

■ 9月号 通信教育部作品集 (596)

□研究科/小説

日傘の男 野上 史郎

クレイマー あすなる

車椅子の少年 梁 正志

□専科、研究科/小説2組

夏雨 森田たもつ

妹、さち 北 みちこ

□専科、研究科/小説1組

ダンケシェーン 平田 基記

お独りさま 六海やたら

□本科/小説1組

松太郎のタンゴ 岡崎かしす

スターゲイザー 貴樹山式々

さばみそ定食 林 裕美

□本科/小説2組

本棚鉄道 持田 和市

フラミンゴ 丸井 一範

迷路 大塚 由佳

□本科/小説3組+自分史

駆けぬけた青春の記——東京オリンピックのあの頃 水 島

嘘

ふしぎな部屋 和木田俊作

占守島の思い出 占守島の自然 小野打数重

回転寿司 家野加守孝

坊守の四季—報恩講— 尼子かずみ

□エッセイ・ノンフィクション1組

ある動物園の復活 小池 久

映画監督 鎌仲ひとみ ～祝島を撮る～ 堀内 和恵

花に 中原 節子

ししゃものはぜるとき 有本 友美

□エッセイ・ノンフィクション2組

九九 岩見美和子

東山動物園 つちくも

星花の夢 南 久美

□専科、研究科/詩・エッセイ

テレフォンカード 高樹 紫音

よその犬と 吉田 稀

皮を剥く いちのせまりえ

鑑賞 中林 経城

みずたま 宮城 ま咲

できごと ドアノブ子

なる 朝比奈 昭

幼い頃 加川 清一

生命、ささやく 山根 悠謳

□本科、専科/詩・エッセイ

リセット願望 押領司孝子

雨師宣言 岩枕 うし

「てっ」 松村 眞澄

失せもの 三木もちゅう

わたしのパラソル 小寺 俊江

一炊の夢 今井 清博

峠 高嶋 仁八

廃園 遠野まほろ

夢 永田 俊也

何気ない日々 山花ゲンキ

□本科/詩・エッセイ

詩の死/雪山 美津島チタル

駐輪場勤務日誌 乃木 幸夫

自衛艦 松永アズサ

団扇の風 高藤 典子

もがいている私/詩と私 オオナカヨウコ

■ 10月号 入学案内書 (597)

掌編小説 部屋がほしい 田中昭子

在校生の声 丹野麻美子/竹内昭彦/千葉海/丸井一範/渡辺智子

/仲井杏奈/脇健一郎

学生委員会の活動 高橋淳

■ 11月号 在校生作品集号 (598)

詩

〈選外奨励作〉

匂い 森田美千代

靴 辻岡いつか

忘牛存人 岩枕うし

エッセイ

私の米櫃 松本アイ

小説

ノブ子先生のホイッスル 泉ふみお

花咲かさん 水野瑠見

鷗外の坂 福田純二

さがしもの 朝霧和

兎の耳 中丸惣太

表紙

ゴイサギ 田中昭子

表紙のことば ゴイサギ/田中昭子

編集後記 高橋淳

■ 12月(冬)号 本誌 (599)

第16回小野十三郎賞発表

【受賞】詩集・杉谷昭人『農場』

選評・金時鐘/倉橋健一/小池昌代/坪内稔典

第16回小野十三郎賞最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

学生作品集

詩

風鈴 水本育宏

歯科医師S氏の指先 角野裕美

鈍痛 小林ゆうこ

孟蘭盆会(うらぼんえ) 山林せいいちろう

春には嵐 島すなみ

自我 阪井達生

試煉 中林経城

骨 いちのせまりえ

儀式 百藤杏

夏がおわる 遠野まほろ

わたしのグランマ 美津島チタル

夢 松永アズサ

小説

砂漠の蛍 ゆこ

成美(なるみ)、十四歳 金恵美子

児童を買う 松浦りか

書評

ベンヤミン『この道、一方通行』(細見和之訳) 山田兼士

川上明日夫詩集『草霊譚』 佐久間慶子

日方ヒロコ作品集『やどり木』 日野範之

山田兼士『萩原朔太郎《宿命》論』 江夏名枝

加納由将詩集『夢見の丘へ』 小林ゆうこ

追悼

『罪と罰』講義の山田幸平さん 日野範之

眼差しのパースペクティブ——山田幸平先生追悼 葉山郁生

秀作の樹・個性の花

エッセイ

美山日記 葉草頼み 谷口みゆき

小説

雨どい 尾野マテオ

クマキチ号放浪記 かわばたでんがく

ばあばの山 宮城芳典

中庭の少女 片山郁子

【2015年】

■ 1月号 通信教育部作品集 (600)

- 研究科/小説
 - ふらとにつくはーと モモダアイ
 - 影 岡田 牧子
 - 川中島の戦い 山内 常治
- 専科、研究科/小説1組
 - 回復 本田 和揮
 - さやかのこと 森 かつら
- 専科、研究科/小説2組
 - 雨上がりの唄 嵐山 彩
 - ひよし橋のなごり 三村 晃
 - 山の色映えて ——人を弔うということ—— 川野 ら
- 本科/小説3組
 - 目医者への帰り 藤原 修
 - ソーラーバード 井上 幸子
 - ムシに託す 柏木 奏
- 本科/小説2組
 - きんぴら五郎 山田 佳苗
 - 冷たい共犯者 月岡 一葉
 - からっぽの世界 小海 真
- 本科/小説1組
 - ファイナルステージ 岡崎かしす
 - タクシードライバー日記 二、家族 森園 哲也
 - おにんぎょうさん 清水 公介
- 本科/小説4組+自分史
 - えらいやっちゃ 吉 (●土に口) 田まつえ
 - その日 居原木咲子
 - さようならを君に 神戸川なみ
- エッセイ・ノンフィクション
 - 廃車 舟坂 鉄泥
 - 満蒙開拓平和祈念館のうろ
 - 大塚国際美術館へ行って 前田 知子
 - 石山寺探訪 つちくも
 - つぶて 岩見美和子
 - 着物雑感 谷口みゆき
 - 瀬戸内の海 中原 節子
 - 来年もビア電にいこか 小池 久
- 専科、研究科/詩・エッセイ
 - 空をゆくイワナ なんどう照子
 - 始まり 吉田 稀
 - 笑顔じゃなくても 宮城 ま咲
 - 死ぬ時節には死ぬがよい 高樹 紫音
 - 海岸に いちのせまりえ
 - 十円玉 加川 清一
 - 涙は線香の香りがする 松村 眞澄
 - イワシの夢の中に 山根 悠謳
 - 今まで知らなかった ドアノブ子
 - 芸術 中林 経城
- 本科、専科/詩・エッセイ
 - 土と語る 高嶋 仁八
 - 山登り 三木もぢゅう
 - 爺 きせゆきひろ
 - リフレイン その一「希望」 遠野まほろ
 - 深山窮谷 岩枕 うし
 - 酔ふてさうらふ 高藤 典子
 - 再生 押領司孝子
 - てふてふ 今井 清博
 - 犬 永田 俊也
- 本科/詩・エッセイ
 - 農は国の基なり? 松永アズサ
 - 思い通りにはいかないことについて (9月の庭の薔薇の剪定) 山本 潤
 - お前はマムシ 正木ふゆみ
 - ピーコ 中島 恭二
 - 猫のまつげ 宗岡 千晴
 - 角砂糖が溶けてゆく 前田 涉
 - 木霊 福井栄美子

■ 2月 (春)号 本誌 (601)

第16回小野十三郎賞受賞作品+受賞者インタビュー+記念座談会+記念講演

受賞作品 杉谷昭人『農場』(抄)
 インタビュー 【受賞者】杉谷昭人【聞き手】苗村吉昭
 最終候補詩集(抄) 新井高子『ベットと織機』/伊藤公成『カルンノーマ』/唐作桂子『川音にまぎれて』/木澤 豊『かもめホテル』/中里友豪『キッチャキ』
 記念座談会 「私の期待する詩、期待しない詩」 倉橋健一/小池昌代/坪内稔典
 記念講演 詩を書くこと 詩を読むこと 『私の女性詩人ノート』をめぐって たかとう匡子

特集 小説チューターが推す、私の好きな詩、この一篇
 安芸宏子/石村和彦/岩代明子/岡 保夫/奥野忠昭/音谷健郎/
 小原政幸/佐伯 晋/佐伯敏光/高島 寛/津木林洋/夏当紀子/
 なりたもとこ/日野範之/平野千景/森口 透/若林 亨

詩+近況
 猫 金 時 鐘
 雨法師、ほか二篇 川上 明日夫
 柿が3ニン 高田 文月
 手紙の来ない日は たなかよしゆき
 どうするどうする不整脈 富上 芳秀
 ingress 中塚 鞠子
 おとうさんの工場 苗村 吉昭
 ある夜の風景 細見 和之
 涙腺の蟻 松本 衆司
 きりぎりす パラフレーズ 太宰治 山田 兼士

書評
 たなかよしゆき詩集『銀河草』 大西 久代
 早田真由美詩集『太陽(ルビ●まる)』 たなかよしゆき
 小池昌代『悪事』 山田 兼士
 井上 庚『頑固な軍国少女が教師を経て反戦詩人になった理由(わけ)』
 日野 範之

秀作の樹・個性の花
 詩
 クローゼット・です(あるいは閉じ込められた死) なんどう照子
 ココアを飲み終えるまで いちのせ まりえ
 池袋で 吉田 稀
 エッセイ
 青虫すだれ はまだ ふくこ
 小説
 海辺の町で 安藤 容子
 読書ノート
 野間宏『顔の中の赤い月』 和木田 俊作

小説同人誌評6 作品の目鼻立ち 細見 和之
 詩時評8 選べない選挙であっても… 苗村 吉昭

■ 3月号 通信教育部作品集 (602)

- 研究科/小説
 - 海石榴 日野あすか
 - ケセラセラ 安藤 容子
- 専科、研究科/小説2組
 - デコちゃん 高樹 大至
 - 冬芽 川端 柳花
- 専科、研究科/小説1組
 - 塩の皿 西田恵理子
 - 籠 夢来 華
 - 光の中へ 内地シゲル
- 本科/小説2組
 - チョコっと反省 丸井 一範
 - 音楽の終焉 亀本 浩美
 - 赤いカプセル 吉岡 豊
- 本科/小説1組
 - おかけになった番号は…… 清水 公介
 - HOPE 千葉 海
- 本科/小説3組

父の涙 桜木 彩佳
 青頭巾 よしかわなつこ
 トリコロール・パラダイムシフト 佳名 哉
 本科/小説4組+自分史
 じいさまと、ふしぎの本 和木田俊作
 夕姫伝説 南 久美
 私の天六学舎、学生時代 八木 宇美
 駆けぬけた青春の記——東京オリンピックのあの頃 水 島
 腫
 恵さんと共に——病院巡り 澤 美晴
 エッセイ・ノンフィクション
 憤死 岩見美和子
 絵画に魅せられて 中原 節子
 ジャンクカメラの輪廻 舟坂 鉄泥
 魔法の館に行ってみませんか 小池 久
 美山日記 草々の花 谷口みゆき
 散歩に出かける 植田 千秋
 大原女 みずたにまなぶ
 専科、研究科/詩・エッセイ
 象使い なんどう照子
 時間割 宮城 ま咲
 老師 加川 清一
 本を いちのせまりえ
 道 中林 経城
 速達の切手が必要な理由 吉田 稀
 骨董屋の春 松村 眞澄
 H君の目 高樹 紫音
 ゆりかもめ 山根 悠謨
 本科、専科/詩・エッセイ
 リフレイン その一「てふてふが一匹」/その二「一匹のちょうち
 よが」 遠野まほろ
 木枯しにゆれる 高藤 典子
 渡り きせゆきひろ
 私はあなたを抱きしめる 押領司孝子
 君の名は 高嶋 仁八
 学校嫌い 三木もちゅう
 クロ 永田 俊也
 本科/詩・エッセイ
 落したみかん 松永アズサ
 光の街 山本 潤
 少年 正木ふゆみ
 「生きて生きて」ピンコロリン 仁科 満恵
 師走 宗岡 千晴
 十二月のセミ 前田 涉
 白鱗 中島 恭二

■ 4月号 入学案内書 (603)

掌編小説 フェリー 坂井陽
 在校生の声 綾部綾/蒔野さくら/和田越男/山下悦夫/山田佳苗
 /藤原雪生/脇健一郎
 学生委員会の活動 高橋淳

■ 5月(夏)号 本誌 (604)

特別講座 作家になるということ 吉村 萬彦

第35回大阪文学学校賞発表

[選評]高昌 寛/津木林 洋/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音
 谷健郎

● (小説部門) 受賞作品…「ノブ子先生のホイッスル」 泉ふみお

● (詩部門) 受賞作品…「秋の隙間 息子へ」 宮地浩子

【佳作】「池袋で」 吉田 稀

【奨励賞】該当作なし

● (エッセイ・評論ノンフィクション部門) 受賞作品…「転職風景」

山名萌絵

小説

原発サンゴ 四宮 秀二

時計 岩代 明子

特集 ノンフィクション「その場に立つこと」

島から島へ——インドネシア幻視行 音谷 健郎

ほおじる通信 —— 頬白はイビツケイジョツカマツリソロと鳴く

—— たなかよしゆき

バクテを生んだ人々 佐伯 敏光

書評

風呂井まゆみ詩集『私は私の麦を守っている』 小林ゆう

こ

いちのせまりえ詩集『くちびるのかたち』 なんどう照子

秀作の樹・個性の花

詩

黄昏れに 森田美千代

ニート満喫中 田原 弦喜

数をよむ 藤井千代江

冬日 小竹 ゆい

花れんこんの小窓 遊 琴音

エッセイ

ふり返れば茜の空 阪下ひろ子

小説

五月に咲く桜 磯野佳代子

ライオン橋 よしむら杏

迷走スパーリング 森 昇一

無頼の果てに 田中 敏夫

ムカデ女 安西美千代

小説同人誌評7 人物を動かしてほしい 細見 和之

詩時評9 詩人の感性でたぐり寄せる未来 苗村 吉昭

■ 6月号 在校生作品特集号 (605)

詩

中之島イルミネーション 谷川世奈

波蝕 宮地浩子

水面の色は 宮城ま咲

金魚 阪井達生

過ぎゆく中で 宮浦久子

エッセイ

海峡の龍 きせゆきひろ

(選外奨励作)

子どもの本と子どもたち——追悼 川端強 藤原修

ドアノ一の窓から 菅野美智子

小説

沈める寺で 早高叶

キャピュレットの女たち 中田裕子

きつね山公園で 森泉

(選外奨励作)

鉄板公園の絵描き かわばたでんがく

シャトー高木温泉 住田真理子

表紙のことば 樹林脳/高田円

編集後記 新谷翔

■ 7月号 通信教育部作品集 (606)

研究科/小説1組

残ったカニ足

森 かつら

岡っ引の女房捕物帖——片想い 牧山 雪華

研究科/小説2組

ホッパー

西田恵理子

変わる

岡田 牧子

専科/小説1組

たけのこねこのタケ 岡崎かしす

散歩

渡谷 邦

パートナー

白石 宏平

専科/小説2組

泥棒トカゲと不思議なスイカ

正田 真智

新ペンペン草

北村 邦彦

あと五分、まだ五分 丹 涼佳

本科/小説1組

茶碗

松 良子

しろいはな

安藤 薫

彼女たちの島 (4) 湯けむりのなかで 和田卓子

本科/小説2組

タマコさん

山花 絹

チャレンジ

藤井 裕介

平行線の家 柏木 奏
 □本科/小説3組+自分史
 昭和を生きて(五) 里 よしこ
 いつの日か晴れ 西垣ゆきこ
 鏡 下里 厚子
 おスミさん 次 祥子
 上野の桜 真義ナツオ
 □エッセイ・ノンフィクション
 犬がいた家 夢見あかり
 ショルダーバッグ 桐村緋佐子
 ロールプレイング 佐藤美友紀
 村の移ろい家の移ろい 山上 豊
 間違い電話 岩見美和子
 またらいねん ごおじゃれのお 阪下ひろ子
 私がキリスト者になったいきさつ 前田 知子
 美容院 大山 秋象
 高野山 みずたにまなぶ
 □専科、研究科/詩・エッセイ
 新開発卵子保存法 松永アズサ
 自画像 山本 彰子
 春の駅まで なんどう照子
 鍵穴 その2 高樹 紫音
 試練 山口 春樹
 声 中林 経城
 60本の赤い薔薇の花束 松村 眞澄
 □本科、専科/詩・エッセイ
 冬の仕事 遠野まほろ
 人心花 高嶋 仁八
 猫はにやあと返事をする 吉田 稀
 袋の迷宮 藤井三千枝
 菜種梅雨 いちのせまりえ
 姫路から上月へ 萩原 恭介
 私の居場所 川島ミヅキ
 二本の松 今井 清博
 白い花 星 椰
 からっぽ 百藤 杏
 信次郎さん 田中 礼子
 縁日 鳴々門 零
 晴れたらいいな 田畑 陽子
 □本科/詩・エッセイ
 家仕舞いを予定する新年 森 保子
 楽園 高橋るりこ
 湖畔 福井栄美子
 きくちゃん 宗岡 千晴
 ふきのとう 高村佐保子
 黒ネコ 前田 渉
 問い 空 青子
 新・よっしーのひとりごと よっしー
 かぜ 正本有喜子
 おしゃべりー親類のおばさん達へ 野原よう子
 ハチ 正木ふゆみ
 土につながる 夕 凧子
 書くということ ナガイヒデミ
 ほほえむ あなた 渡邊 陽子

■8月(秋)号 本誌 (607)

公開座談会「知のインフレーション」

物理学者 志村 史夫

作家 吉村 萬壺

細見 和之

司会 佐伯 晋

長谷川龍生ロングインタビュー

詩人と戦後文学の歩み

聞き手 葉山 郁生

柏崎 歆

(朝日新聞記者)

〈第35回大阪文学学校賞受賞作/エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉

転職風景

山名 萌絵

書評

吉田稀詩集『遠いお墓』 中塚 鞠子
 苗村吉昭編『中村正子の詩と人生』 石村 和彦
 金時鐘『朝鮮と日本に生きる——濟州島から猪飼野へ』 島 すなみ
 富上芳秀詩集『かなしみのかごめかごめ』 松村 信人
 島すなみ詩集『ホーム・スイート・ホーム』 高田 文月
 佐伯敏光『源郷のアジア インド・中国雲南・マレーシア3紀行』
 夏当 紀子
 菱木紅詩集『サカムケ』 辻 久々
 松吉千津子『ひと夏の少年兵』 日野 範之

秀作の樹・個性の花

詩

モナリザ 田中もぐら

台風一過 大原 素子

エッセイ

無邪気 琴 はるか

遠のく文化 中村 廣人

小説

妻の茶碗 河内 流雨

その日 1・17 秦 美也子

ゴンジ 岡 好和

帰る家 石塚 明子

小説同人誌評8

目の覚める作品

細見 和之

詩時評10 詩を通して眺める新しい自我

苗村 吉昭

■9月号 通信教育部作品集 (608)

□研究科/小説2組

イワナ釣り 村田喜代司

柿を食う日 三上 弥栄

□研究科/小説1組

雨が降っても 瀬名久里子

一本の薔薇 竹本 陽子

□専科/小説2組

母のヤケド 北 みちこ

かべみみ 的野ゆかり

□専科/小説1組

墓じまい 藤田 友房

同じ島の怪物 持田 和市

□本科/小説2組

銀海の波 雲井 弥生

オトン! オトン! 松元詩歩子

通信のヒミツは厳守やで。 柚原 早紀

□本科/小説1組

舞い降りた天女 渡辺 庸子

葬儀を終えて 侑生 昌子

カフェアメデオ 青山 敬

□本科/小説3組+自分史

昭和の風景 岩崎 椿

駆けぬけた青春の記——東京オリンピックのあの頃 水 島

瞳

柿の人 見峠りつこ

□エッセイ・ノンフィクション

蘇鉄 岩見美和子

あなたにソックリな人 佐藤美友紀

カタカナ英語に気触(かぶ)れる日本語 長瀬 浩子

俳句と民主主義 舟坂 鍛泥

スマホ・ウオッチング 山名 萌絵

習い事 中原 節子

父の煮付 大山 秋象

夏休みの宿題 山上 豊

犬がいた家2 夢見あかり

□専科、研究科/詩・エッセイ

客観 中林 経城

蝶 なんどう照子

乳首 高樹 紫音

ストラド 山口 春樹

引越し 松永アズサ

青いトマト 山本 彰子

小鳥 神野 草女

ぶつぶつ 松村 眞澄

□本科、専科/詩・エッセイ

廃園 二 遠野まほろ

流転
砂のきおく
昼寝
ランゲルハンス島の昼下がり
ぬいぐるみ
雨のち晴れ
わたしの桜
虹
老いも幼きも一さじから
あめあがり

高嶋 仁八
藤井三千枝
いちのせまりえ
今井 清博
川島ミヅキ
萩原 恭介
田中 礼子
田畑 陽子
星 椰
百藤 杏

□本科/詩・エッセイ

チキン戦争の終わりと始まり 森 保子
青ガエル 正木ふゆみ
欲求 ナガイヒデミ
お誕生日 高村佐保子
私のくらし 空 青子
夜の蛙 宗岡 千晴
蝶の語り 前田 涉
ひとり心中 高橋るりこ
ここで 夕 凧子
神秘に出会う 野原よう子

■10月号 入学案内書 (609)

エッセイ 物忘れ 桐村緋佐子
在校生の声 青山塔子/田中勝成/福原たかし/小倉智子/上田深雪/中川裕之/脇健一郎
学生委員会の活動 朝霧和

■11月号 在校生作品特集号 (610)

詩
なづけ 夏藤周樹
オキナワ 宮浦久子
ほんやら洞 辻岡いつか

エッセイ
診察室にて MEI
くるたのしい私 羽生未来
酔っ払いDNA 坂本野乃子

小説
左之介逃亡記 安見二郎
モチメンタの宴 横山聖忠
三行半 丸山温道
レモンリーフ 的野ゆかり
物語の続き 石塚明子
ティダ・アパ・アパ 前田美樹

表紙のこぼれ 風に吹かれて/みずたにまなぶ
編集後記 新谷翔

■12月(冬)号 本誌 (611)

第17回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・平林敏彦『ツィゴイネルワイゼンの水邊』
【特別賞】詩集・宮内憲夫『地球にカットパン』
選評・金時鐘/倉橋健一/小池昌代/坪内稔典
第17回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

特集 戦後七十年を考え続ける
評論
戦後70年に思うこと 倉橋 健一
戦後ドイツと戦後日本、めまいのする落差 細見 和之
故郷喪失/故郷創出 詩人の場合 山田 兼士
歴史認識・戦後七十年 ——ドイツと日本の小説から 高 畠
寛
無慙愧は名づけて人とせず ——宗教者の戦争責任と戦後の罪責告白 日野 範之
私の戦後体験を照射した三冊
私の戦後体験を照射したこの本 音谷 健郎
父が語らなかつた物語のつづき 佐伯 晋
戦後七十年 女性たちはどう生きたか 中塚 鞠子
評論
戦争の悲哀と喪、世代間の精神のリレーと断絶 葉山 郁

生
小説
幻想引揚げ列車 国方 勲
エッセイ・ノンフィクション
父の戦争 渡利 真
女こどもの戦争 山本 佳子

書評
音谷健郎『解放文学——百冊のこだま』 日野 範之
山口春樹『USA 九つの物語』 大沢 綾子
阪井達生詩集『おいしい目玉焼きの食べ方』 倉橋 健一

追悼

松岡昭宏さん ——文校の創設、基本形を創った初代事務局長
日野 範之

秀作の樹・個性の花
エッセイ
淀川のおなご 山名 萌絵
小説
鉄とそれを使う人 堀内 夕闇
お屋敷 清水 完
たはたほ屋 川口 尚子
夜汽車 石井 涉
小説同人誌評9
未来からの視線 細見 和之
詩時評11
言葉を解放しうる実践形式としての詩 苗村 吉昭

【2016年】

■1月号 通信教育部作品集 (612)

□研究科/小説1組
雲のはて 田中美代子
□研究科/小説2組
へソの緒を捜しに 野田 こう
□専科/小説1組
夢の正体 芳野さら紗
トマト 丸井 一範
図書館 穂本 浩美
□専科/小説2組
うたぐり 森園 哲也
八月五日 土曜日 晴れ 今日、ボランティアで下草刈りに行った。
藤原 修
□本科/小説1組
空気よ動け 竹下晋平
骨の行方 切塗よしを
□本科/小説2組
再会 伊藤 忠弥
壊れたサンダル 大西 晃代
出会い 神谷 麻子
消えた男 中里 羊
マキちゃんのリカちゃん人形 藤井 裕介
□本科/小説3組+自分史
ヤマンカンマツリ 星 椰
冬の雲 浜 幸子
妹(一) 原田登美子
黄泉からの手紙 真義ナツミ
今日の運勢 篠原 茂人
□エッセイ・ノンフィクション
スマホ狂騒曲 小池 Q
この道を歩いていけば 山名 萌絵
長崎おもてなし考 吉田 久美
ろくろく三十六の私と、くし三十六の母 八木 宇美
今年の報恩講 侑生 昌子
新・あなたにソックリな人 佐藤美友紀
高齢者自動車講習予備検査 桐村緋佐子
□専科、研究科/詩・エッセイ
ブラナリア 山本 潤
やまびと なんどう照子
キャベツの芯 山本 彰子
春恨 二 中林 経城
距離 山口 春樹

カサブランカ カドノヒロミ
 首のない料理人 高樹 紫音
 天寿 松永アズサ
 本科、専科/詩・エッセイ
 ある野菜の独り言 萩原 恭介
 静物たち 前田 渉
 負け組のうた 西原 英司
 箱の中の蝶 いちのせまりえ
 棲み分け浜で 藤井三千枝
 兎と亀 高嶋 仁八
 うれしかった唐揚げ 小寺 俊江
 夏が行く 遠野まほろ
 蝸牛(かたつむり) 今井 清博
 三月 田中 礼子
 秋の午後だと言うのに 百藤 杏
 本科/詩・エッセイ
 産婆の見たて 正木ふゆみ
 待つ 新 いきる
 ぶどう ナイアガラ 森 保子
 グレイシュ・トラベル 柚木 汎
 はたらく 内藤 久士
 始まり 田中 文恵
 虚構 名 無し
 遠い出会い 野原よう子

■ 2月(春)号 本誌 (613)
 第17回小野十三郎賞受賞作品+受賞者インタビュー+記念座談会+記念講演
 受賞挨拶・作品
 平林敏彦『ツイゴイネルワイゼンの水邊』(抄)
 宮内憲夫『地球にカットパン』(抄)
 インタビュー
 【受賞者】平林敏彦【聞き手】細見和之
 【受賞者】宮内憲夫【聞き手】川上明日夫
 最終候補詩集(抄)
 いちのせまりえ『くちびるのかたち』/北爪満喜『奇妙な祝福』/草野理恵子『パリンプセスト』/細田傳造『水たまり』/渡辺めぐみ『ルーオーのキリストの涙まで』
 記念座談会
 「小野賞と文学学校生の詩人たち」 川上明日夫/苗村吉昭/山田兼士
 記念講演
 和歌と現代詩——百人一首の現代語訳にかかわって 小池 昌代

特集 大阪文学学校賞受賞詩人たち
 大好きなお母さん イングロ・ユリ
 鳥賊 いちのせまりえ
 シナプス 大野 直子
 パントマイムの花束 尾崎まこと
 逃走 加納 由将
 かおり、他三篇 きむ ほんじゃ
 帰る名前 胡桃澤 伸
 落葉のレクイエム 小池 栄子
 魔法の屋台暖簾 児玉 桂子
 見送られる、他一篇 阪下ひろ子
 風 竹島 浩一
 むし 蟲 博物誌(連作・部分) 遠木 順子
 子供の情景 鶏間 樞
 まだ見つからない声が 中林 経城
 鯨 なんどう 照子
 発光体 信定 和美
 へそと月 畑 章夫
 糸崎 はるのとおり
 息子 堀内 美希
 閉架書庫 眞住居明代
 八月に悼む 水間 敦隆
 柿の時間 宮地 浩子
 記憶 吉田 稀

詩+近況
 エレジーの周り 金 時 鐘
 蛭つれづれ 川上明日夫
 七十年の「家」 高田 文月

幕間の夢 富上 芳秀
 傷跡 中塚 鞠子
 算数の問題 苗村 吉昭
 初詣の帰りに 細見 和之
 家 松本 衆司
 続・俳回文日記 2015/08/21 - 10/31 山田 兼士

書評
 中塚鞠子詩集『天使のラッパは鳴り響く』 中西 弘貴

秀作の樹・個性の花
 小説
 レスト・イン・ピース プリーズ 諸 さやか
 生きる 小西洋一郎
 「軍艦マーチ」は空に消ゆ 川野 らほ
 マンション・エバーシャープ 夏藤 周樹
 読書ノート
 尹東柱詩集『空と風と星と詩』 津田真理子
 ドストエフスキー『罪と罰』 遠野まほろ

小説同人誌評 10
 もう一步の踏み込みを 細見 和之
 詩時評 12 (最終回)
 歴史の審判を受けるために 苗村 吉昭

■ 3月号 通信教育部作品集 (614)
 研究科/小説2組
 月の砂漠に 久里 しえ
 研究科/小説1組
 鏡に映る私 山本 朋美
 万月 猫 鳥 庵
 専科/小説2組
 ペル 井上 幸子
 ラヴァー 井山 卓
 屋上の植木鉢 三村 晃
 専科/小説1組
 籠崎さんの庭で 渡谷 邦
 呼び名の行方 月岡 一葉
 辛辣で誠実な音楽 穂本 浩美
 本科/小説2組
 回想 谷口 恭一
 迎春花 霞 白
 改札口 堀 優子
 古い革袋に新しい酒を…… 藤波 集子
 発症 松本 匠
 本科/小説1組
 立山〈続編〉 永田 俊也
 ママへ 上平まさ代
 あなた 東山ともこ
 箱庭の亀 安藤 薫
 本科/小説3組+自分史
 明日香村に住んで 勝川 京子
 鯛の塩焼きと秋晴れ 濱本 哲
 夫の禁煙 堀川 雪美
 降水確率 東条理恵子
 おスミさん II 次 祥子
 エッセイ・ノンフィクション
 エヴァ裏にて 舟坂 敏泥
 猫の法要 岩見美和子
 地元密着グルメここにあり 小池 Q
 タバコを宝くじに替えて 山上ゆたか
 ミッション 吉田 久美
 感覚と感情 佐藤美友紀
 ギョ、ギョ、ギョ、のギョのNHK 長瀬 浩子
 専科、研究科/詩・エッセイ
 開いてみたい/蜜柑を噛む 松永アズサ
 お化粧タイムの彼女は カドノヒロミ
 アイシテイル 山本 潤
 赤いリンゴ 山本 彰子
 ナンキンを炊く なんどう照子
 野に出でて 高樹 紫音
 星の燃えかす 山口 春樹
 変容 中林 経城
 本科、専科/詩・エッセイ

ふいうち徘徊② 小寺 俊江
 一日の終わりに 萩原 恭介
 蝉 高嶋 仁八
 むげむげ 西原 英司
 優しい雨 藤井三千枝
 週末の詩人 前田 渉
 断末魔 今井 清博
 川岸で 遠野まほろ
 不在証明 百藤 杏
 □本科/詩・エッセイ
 かすかな安堵 正木ふゆみ
 道化者のひとり言 柚木 汎
 誕生 森 保子
 人酒場 内藤 久士
 あの町 ナガイヒデミ
 呪文 新 いきる
 日々のいとなみ 田中 文恵
 再生 野原よう子

■4月号 入学案内書 (615)

自分史 兄の結婚 浜幸子
 在校生の声 玉石真理/長内暁子/川副貴司/北林珠奈/うえひら
 眞紗世/内藤久士/濱島奈々子/脇健一郎
 学生委員会の活動 津村卓吾

■5月(夏)号 本誌 (616)

特別講座 小説の中の恋愛と異性 島本 理生 (聞き手) 葉山郁生

第36回大阪文学学校賞発表

[選評]高島 寛/津木林 洋/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音谷健郎

- 〈小説部門〉受賞作品…「沈める寺で」早高叶
- 〈詩部門〉受賞作品…「トラック」なんどう照子

【佳作】「ジャムのふた」阪井達生

【奨励賞】「なづけ」夏藤周樹

- 〈エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉受賞作品…「父の戦い」琴はるか

特集 (戦争)って? クラスみんなが書いてみた

高田文月/小竹ゆい/梶谷佳弘/吉中みのり/島すなみ/加納由将/坂本野乃子/谷川世奈/西尾光暉/大槻睦子

短編小説

無邪気に、純粋に 島田勢津子

夜の動物園 西村 郁子

随想

北川莊平没後十年 安芸 宏子

追悼特集 文校創立者 松岡昭宏さん 文学学校が誕生したとき

追悼文 転倒の時告——文学学校運動会のことなど 長谷川龍生

本科一期生の熱気——すばらしきパイオニアだった松岡さん 飯塚 輝一

初期事務局のけしき——机一つと本棚一つ 松岡 明恵

六〇年安保の頃————— 作業者の口笛 岡 保夫

ベトナム戦争の頃———詩「こうしてはいられない」の波紋 山田 克也

京都文学学校の開設——書くことが救いとなった頃 日比野和子

われわれは前進する——文学学校がいちばん熱かった時 中塚 鞠子

文校教室を新谷町第一ビル305号室に設置 高島 寛

再録

死者たちはまだ若い 松岡 昭宏

書評

松岡昭宏『風群』 日野 範之

書評

高島寛『漱石『満韓とところどころ』を読む』 佐伯 晋

丁海玉『法廷通訳人』 音谷 健郎

クレリア・イフリム&加納由將詩集『夢の二重奏』 ゆん・うな

大西智子『カプセルフィッシュ』 田中 一葉

秀作の樹・個性の花

エッセイ

海辺にて 和木田俊作

自分史

ある晩 とつぜん! 磯野 恭三

小説

除夜 森口 順子

高粱 (ルビニコーリヤン) 吉川 由

昼と夜 新山謙太郎

赤いはさみ 長瀬 春代

小説同人誌評 11

文校関係同人誌の頑張り

細見 和

之

詩時評 1

松本 衆司

■6月号 在校生作品特集号 (617)

詩

バケット 田中もぐら

これはルールです。ああそうですか。 坂本野乃子

エッセイ 該当作なし

(選外奨励作)

雪の朝 植田守彦

ラグの色は青色 谷川世奈

天気がいいから散歩しましょう 吉中みのり

小説

長いまどろみ 宮本彩子

おとうと 川端柳花

舞台演出家 松宮信男

夾竹桃の下で 高琢基

ケイコとれき岩 中島恭二

粉雪の降る家 三山真記子

表紙のことば いつかまた/小西福音

編集後記 新谷翔

■7月号 通信教育部作品集 (618)

□研究科/小説1組

潮岬

田中美代子

誰のために

内地シゲル

□研究科/小説2組

汗に御用心

加藤 玲

シリウスの光

瀬名久里子

□専科/小説1組

蟬と兵隊さん

住田真理子

かこちゃんと私

緒方 苑

□専科/小説2組

嘘

藤田 友房

なにか

岡田 牧子

なつちゃん

内山 秀樹

□本科/小説1組

壁を抜けて

世花 むむ

プログラミング

吉田ころこ

□本科/小説2組

暗がりの柱

紫雲 鈴

春の訪れ

大西 晃代

新しい隣人

中里 羊

優しいうそ

山内賀代子

いつでも希望を 谷口 恭一

□本科/小説3組+自分史

芝居が来た日

浜 幸子

ヤマンカンまつり その三

山下けい子

スマートホンが繋げる

真柴田 光

スキルス胃がんの母と

橘 日和

レディ・パノック ふじた・ごうらこ

□エッセイ・ノンフィクション

モモ

おなはひろこ

シアトルでの感動 さかがみさちこ

私の英語人生 豊永 勝嗣

一方そのころ我々は 吉田 久美

鬼の目玉 有本 友美
犬がいた家 5 夢見あかり
□専科、研究科/詩・エッセイ
あめ なんどう照子
認識 中林 経城
散歩 いちのせまりえ
タラレバ 角野 裕美
蜜柑をむくと 山口 春樹
消えない記憶 山本 彰子
座敷童 高樹 紫音
ヘリコプター 宮浦 久子
大晦日(一九七〇年)/大晦日(二〇一五年) 山 本

潤
□本科、専科/詩・エッセイ
月光 前田 涉
太宰治 田中 文恵
ふたつの顔 みずたにまなぶ
中身 松永アズサ
夜明けまえ 高嶋 仁八
物を書く人 萩原 恭介
木の葉が落ちるように 小寺 俊江
鉄の杖 今井 清博
団子 遠野まほろ
春の訪れ 百藤 杏
□本科/詩・エッセイ
二十年の元気/山茶花 正木ふゆみ
メトロ南北線に乗って 森 やすこ
心が疲れたから 新 いきる
じゃがいも人生 内藤 久士
モリアオガエルの沼 常木みや子
伝言「生まれたての君へ」 野原よう子
神様がくれた時間 篠宮 晴子

■8月(秋)号 本誌 (619)
特別企画 いま、文学でしかできないテーマ探しとは何か
神山 睦美

〈第36回大阪文学学校賞受賞作/エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉
父の戦い 琴 はるか

恩師を訪ねる
飯塚輝一・チューターを訪ねて 善積 健司
岡 保夫・チューターを訪ねて 岡 保夫・チューターから学んだこと 山本 佳子
インタビュー 田中 信子
木澤 豊・チューターを訪ねて 山に住まう渚の詩人(木澤豊さんに触れる) 竹島 浩一

短編小説
さきぶれ 若林 亨
秋の真昼に舞う蝶は 早高 叶
源助柱(ルビ●げんすけばしら) 西田恵理子

追悼
〈四宮秀二 追悼〉
海の表情 ——四宮秀二・漁師作家が描いた世界 日野 範之
大瀉湾を見る窓 佐久間慶子
〈朝比奈敦 追悼〉
朝比奈・チューターを偲ぶ 佐伯 晋
一度、お会いしたかった 瀬戸みゆう

書評
富上芳秀詩集『蕪村との対話』 林 美佐子
細見和之・山田兼士『対論Ⅱ この詩集を読み 2012～2015』 今野 和代

秀作の樹・個性の花
詩
野の小道 正木ふゆみ
紅椿 江上 透子
ライブハウス 矢野美佐子
ロンリーアマテラス 甘里 君香

小説
地下排水溝 高 琢 基
エッセイ(昼・文章講座 課題作品)
運動靴 瀬名久里子
これもマタニティー・ブルー? 村田 千鶴
レモン 北林 珠奈
大きく呼吸を三回して 山中 真清
なみおおばあちゃん 和木田俊作
涙のブルーシート 真栄田 光
桜の樹の下で 神郷 慎一
二十四の瞳 見峠りつこ

小説同人誌評12
書くことの意味 細見 和之
詩時評2
松本 衆司

■9月号 通信教育部作品集 (620)

□研究科/小説2組
殻 五月 生
絆 森園 哲也

□研究科/小説1組
栗色の髪 森 かつら
おじさんとの絆 沖津藻敏樹

□専科/小説2組
在校生の作品 酒井 愛留
眉間の傷 辻 明依

□専科/小説1組
脱皮 松 良子
オニ退治 切塗よしを

□本科/小説2組
先生、あのね 竹田 礼子
侵食 堀 優子

せつげんの一人言 山内賀代子
スマイルを買いに 大西 晃代
いつでも希望を 谷口 恭一

□本科/小説1組
テンミリオンベイビー 浅野 美鈴
曙光の訪れ 黒川 琳子
リカバリー おかもと美帆
蜘蛛 林 泉

□本科/小説3組+自分史
母の子守歌 勝川 京子
仏さまの花(その一) 中村優美子
ゆずり・いのち 下里 厚子
ベトナム紀行 村上 照葉
世界に友だちづくりの記(その二) 水島 瞳

□エッセイ・ノンフィクション
この空の下の被災した子供たち 有本 友美
どこでもドア 八木 宇美
私の東京物語 おなほひろこ
マリアという名の婦人 長瀬 浩子
秋の朝顔 山上ゆたか
倒産した会社が再生するまでにフツの社員の私が見てきたこと

II 吉田 久美
□専科、研究科/詩・エッセイ
ダイヤモンド鉱床 山口 春樹
体験 中林 経城
懲りない母親 山本 彰子
涙町 なんどう照子

きつと、しあわせは いちのせまりえ
父に会う 宮浦 久子
水無月 角野 裕美
姥捨て 山本 潤
家 高樹 紫音

□本科、専科/詩・エッセイ
通勤電車の中で 前田 涉
ジョハリ みずたにまなぶ
私の介護日誌 小寺 俊江
クルミ材の箱 萩原 恭介
鼻歌 田中 文恵
今はない 今井 清博
立ち葵 遠野まほろ
逡巡 松永アズサ

足跡 高嶋 仁八
□本科/詩・エッセイ
驟雨ベルリン 常木みや子
お前はマムシ(Ⅱ) 正木ふゆみ
一人暮らし 新 いきる
おなじ姿勢 篠宮 晴子
東京メトロに乗って 森 やすこ
喫茶 りんご 野原よう子

■10月号 入学案内書 (621)

小説 プログラミング 吉田こころ
在校生の声 中森敦子/永尾勇/種村宏/つきー/野本志帆/お
なはひろこ/磯村祥子
学生委員会の活動 津村卓吾

■11月号 在校生作品特集号 (622)

詩 該当なし
(選外奨励作)
あやめ 森田美千代
おめん 松永アズサ
オセロゲーム 高樹紫音

エッセイ
二度捨てられたネコ 辻岡いつか
死ぬまでに何回ダイブできるかな 金海雨

小説
鉄道往生 夏藤周樹
三キログラム 辻明依
カモミール先生のしびれない日々 青山トーゴ
薔薇頭蝙蝠 井上幸子
手のひらの痛み 紅月冴子

表紙のことば 題名知らず/松浦りか
編集後記 新谷翔

■12月(冬)号 本誌 (623)

第18回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・森水陽一郎『九月十九日』
【特別賞】詩集・平野晴子『黎明のバケツ』
選評・金時鐘/倉橋健一/小池昌代/坪内稔典
第18回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

特別講座 小説を語るの誰か 柴崎 友香(聞き手) 細見和之

小特集 佐久間慶子『チャイニーズ・ボックス』をめぐって
戦後七十一年目の亡霊——『チャイニーズ・ボックス』のメッセ
ージ 日野 範之
中国の視点から見た日本の「中国進出」 音谷 健郎
『チャイニーズ・ボックス』あらすじ 大沢 綾子
合評会『チャイニーズ・ボックス』を、どう読んだか
山本佳子/島すなみ/金城静穂/大槻睦子/国方 勲/石塚明子/丁
海玉/渡利 真/佐伯敏光/夏当紀子/安芸宏子/豊岡靖子/畑 章
夫/須永和子/三原てつを/有汐明生/辻岡いつか/森口順子/江
本純三/高 琢基/寺嶋朋子/森野康子/滝尾鋭治/大沢綾子/佐久
間慶子

小説 マイセルフ・ウィズ・マイルーム 斉藤 せち

追悼 真継伸彦さんと大阪文学学校 日野 範之

書評
山田兼士『詩と詩論 二〇一〇—二〇一五』 富上 芳
秀
川崎彰彦傑作撰 中野 朗
最近の坪内稔典著作について 竹岡 一郎
後藤みな子『樹滴』 前島 照代
泉りょう『みくまりの山 ~生野の変 龍野屋遺聞~』 高 橋
淳
瀬戸みゆう『夫の居る家』 芦原 瑞祥
平井利果『海萌ゆる』 谷山 淳彦

秀作の樹・個性の花
詩
トランペット 新 いきる
エッセイ
わたらの新世界(ルビ●にゆうわーど) 磯野波平Ⅱ
小説
犬山瞑想道場 やまやしげる
別れの理由 穂本 浩美

小説同人誌評 13 史実の持つ豊かさ 細見 和之
詩時評 3 松本 衆司

【2017年】

■1月号 通信教育部作品集 (624)

□研究科/小説1組
緑の底 渡谷 邦
陽光は海を指した 耽羅沢 楮
□研究科/小説2組
遠いところから 森上 晶
瓦解2 西原 英司
□専科/小説1組
秋の日の風 渡辺 庸子
里の声 坂永 志穂
□専科/小説2組
義姉という人 天河 発
八合目の夢 村田喜代司
□本科/小説1組
うたがいの時 後藤 健
食育 浅野 美鈴
二十歳 木下 舞
木になりゆく 林 泉
□本科/小説2組
なまぎ姫 かすみ・はく
いつでも希望を 谷口 恭一
傘 角 夕貴
本が好きだったヤツ 津川 章
私の大好きなおばあちゃん 野口 剛
あるメルヘン 紫雲 鈴
□本科/小説3組+自分史
そうだ、信州に行こう(壺・松本編) 中山 貴
赤毛のアンツァーに参加するの巻 橘 日和
恩徳讃 村上 照葉
おスミさんⅣ 次 祥子
雪姐御 ふじたごうらこ
□エッセイ・ノンフィクション
エレナ 尼子かずみ
風が伝えたゴリーエ 水島 瞳
おふくろの味 おなはひろこ
倒産した会社の社員はⅢ 吉田 久美
ケリのふ化 山上ゆたか
時うどん 八木 宇美
□専科、研究科/詩・エッセイ
玉ひも 山本 潤
飛翔 山口 春樹
ばたふらい なんどう照子
歯あ、が。 角野 裕美
おれのいえ 阪井 達生
給料泥棒 高樹 紫音
あまごつかみ 山本 彰子
無言館 宮浦 久子
ひとひらの 森田美千代
ローズソルト いちのせまりえ
□本科、専科/詩・エッセイ
フオリスト・ヴィオリーナ 萩原 恭介
賞レース 正木ふゆみ
ひとりごと みずたにまなぶ
水色の本 樫原もえぎ
親様のウンチ 小寺 俊江
春の香貫山 今井 清博
曼珠沙華 遠野まほろ
人のかたち 宮城 ま咲
ふきだし 松永アズサ

旅路 高嶋 仁八
天王寺 濱本 哲
六月の水面 百藤 杏
□本科/詩・エッセイ
図書室 うめのしとみ
夕顔 新 いきる
立ち尽くす 常木みや子
未練 佐藤 利加
「あーそーぼ」／からしいなり 篠宮 晴子
サンダル うめのしとみ
亀太郎おじさん 野原よう子

■2月(春)号 本誌 (625)
第18回小野十三郎賞受賞作品+受賞者インタビュー+記念座談会
受賞挨拶・作品

森水陽一郎『九月十九日』(抄)
平野晴子『黎明のバケツ』(抄) 4
インタビュー
【受賞者】森水陽一郎 【聞き手】細見和之
【受賞者】平野晴子 【聞き手】中塚鞠子
最終候補詩集(抄)
宇佐美孝二『森が棲む男』／宇宿一成『透ける石』／斎藤恵子『夜を叩く人』／中西弘貴『厨房に棲む異人たち』／新延 拳『わが流刑地に』／花潜 幸『初めの頃であれば』
記念座談会
「小野賞の未来」 金時鐘／倉橋健一／小池昌代／坪内稔典

特集

大阪文学学校チューターが薦める、この詩集、歌集、句集
安芸宏子／岩代明子／川上明日夫／島田勢津子／富上芳秀／中塚鞠子／夏当紀子／苗村吉昭／日野範之／平野千景／細見和之／松本衆司／森口透／山田兼士／若林亨／葉山郁生

詩+近況

遠い後光 金 時 鐘
秋の体温計 川上明日夫
冬瓜を売る寂しさ 富上 芳秀
秘密 中塚 鞠子
五十前の男でも 苗村 吉昭
バス 細見 和之
恋情の淵で 松本 衆司
ヴェルレーヌの雨 山田 兼士

追悼

嶺月耀平さんと遺作「朋友」 小原 政幸
小説
朋友 嶺月 耀平

新連載

講座 小説表現の基本 一
体験を小説化する方法 一小説と体験記とはどこが違うのか
奥野 忠昭
リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校
わたしの大学 ——切磋琢磨のにぎやかさ たなかよしゆき

書評

山田兼士詩集『月光の背中』 池田 康

秀作の樹・個性の花

小説
ハイツ・ブルー 夏野 緑
ハングリー&アングリー 石田 理絵
エッセイ
闇へ滑る 篠宮 晴子
(昼・文章講座 課題作品)
祖父と父の間の距離 前田 美樹
小さな丘 永迫 恵子
牛くんの涙 村田喜代司

小説同人誌評 14

荒削りの魅力 細見 和之
詩時評 4
松本 衆司

■3月号 通信教育部作品集 (626)

□研究科/小説2組
鉄の音 鮎沢しほり
ラス・パルマスの恋 山下 悦夫
□研究科/小説1組
唐草の風呂敷 西田恵理子
戻橋 白石 宏平
□専科/小説2組
いくらあれば幸せ? 内山 秀樹
ベツレヘムの星 辻 明依
□専科/小説1組
最終レース 切塗よしを
黒ダイヤの街の、白い花 星 椰
おっちゃん 山岡 弘枝
□本科/小説2組
鳥 角 夕貴
赤くて青くて透明な水 宇定 記保
アロマの森へ 高 明美
さびしかったんだよ 野口 剛
わが水無月の ——この一篇をRに捧ぐ 湊見 博
いつでも希望を 谷口 恭一
□本科/小説1組
金色のミリオーネ 林 泉
とびらをあけて 杉原たえこ
まわる 木下 舞
楽園のクリスマス おかもと美帆
秘密 吉田こころ
□本科/小説3組+自分史
仏さまの花 (三) 不思議な足音 中村優美子
いつか来た道? いつか行く道? 橘 日和
桜と白鷺 勝川 京子
そうだ、信州に行こう(壺・松本編) その二 中 山
貴
□エッセイ・ノンフィクション
ニューヨークにちょっと住んでみた おなほひろこ
霞のかかった人 長瀬 浩子
三流患者 有本 友美
母についての覚え書き 侑生 昌子
□専科、研究科/詩・エッセイ
万年筆 宮浦 久子
枝 なんどう照子
歯科医師S氏の指先 角野 裕美
孤独な自転車 山本 彰子
アコヤガイの歌 山口 春樹
空席の季節 森田美千代
決別 高樹 紫音
春になれば 阪井 達生
希望のビジョン 山本 潤
□本科、専科/詩・エッセイ
ママたちへの直訴状 正木ふゆみ
湖のみずどり みずたにまなぶ
膏薬女 松永アズサ
旅路 高嶋 仁八
神さまのウンチ 小寺 俊江
ヤンリクの夜は更けて 今井 清博
献杯 樫原もえぎ
シュレッター係の猫 宮城 ま咲
椅子 遠野まほろ
二篇の詩から始まる 萩原 恭介
比叡の夜明け 濱本 哲
□本科/詩・エッセイ
パール友達 篠宮 晴子
行列 うめのしとみ
囲まれて 新 いきる
驟雨ベルリン 常木みや子
無題 佐藤 利加
夕暮れ時 野原よう子

■4月号 入学案内書 (627)

エッセイ 象さん、キリンさん、カバさん うめのしとみ
在校生の声 佐々木鈴／渡邊伊織／若松陽子／宇定記保／池崎誘心
／うめのしとみ／乗鞍恒成
学生委員会の活動 新谷翔

■5月(夏)号 本誌 (628)

第37回大阪文学学校賞発表

〔選評〕高島 寛/津木林 洋/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音谷健郎

●〈小説部門〉受賞作品…「三キログラム」辻 明依

●〈詩部門〉受賞作品…「骨の駅」梶谷佳弘

【佳作】「ロンリーアマテラス」甘里君香

【奨励賞】「玉ひも」岡崎葉子

●〈エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉受賞作品…「ランナーな私」羽生未来

小説

グレーホール 奥野 忠昭

連作小説

エヴァー交響曲 尾崎活子/安西美千代/有汐明生/清原ふみ子/木津川伊吹/高 琢基/田中 塵/桜木彩佳/明元太陽/やぎ みわ/内藤博之(夏当クラスA班)

この場所から 青澄ゆらは/蒼井ふみ/銀かよこ/石塚明子/高垣龍法/夏野 緑/宮野貞子/森口順子/渡利 真/鈴音 雪(夏当クラスB班)

自分史

俱会一処——父・六景 日野 範之

記録文学

聖戦俳句 山口 春樹

未来へ行った? 山本 佳子

エッセイ

『中野重治詩集』——追い求めたものは何だったのか 音谷 健郎

連載講座 小説表現の基本 二

筋の展開のさせ方—行為中心の筋 奥野 忠昭

リレーエッセイ

私が出会った大阪文学学校 ② 西村 郁子

書評

津木林洋『維新に先駆けた絵師 とつげん・いっけい』 青山トローゴ

森田美千代詩集『寒風(ルビ●かぜ)の中の合図(ルビ●シグナル)』 山田 兼士

高島寛『溪流のヴィーナス』 安芸 宏子

富上芳秀『恥ずかしい建築』 中塚 鞠子

『宗秋月全集 ——在日女性詩人のさきがけ』 島 すなみ

ルーティハウザー徳野美代子著『帰国おばさんのワクワクドキドキ旅日記』 富上 芳秀

鏗 雅代・創作集『寒さの夏は』 日野 範之

秀作の樹・個性の花

詩

青い花 小西 福音

マグダラのマリア 新 いさる

女は怖いものである 三木もちぢゅう

KAZOKU なんどう照子

マスクをすると 宮浦 久子

小説

鼠の嫁入り 中小路そら

細い月 佐伯 厚子

カンカラ 中川 幸子

銭湯まで 瀬名久里子

翡翠の焰(ルビ●ほむら) 井上きりん

エッセイ

残り香 辻岡いつか

お正月 なかもりあつこ

母と「神道のこころ」 森野美也子

(昼・文章講座 課題作品)

私の旅～沖縄へ～ 林 泉

四国での歩き遍路 森 優博

福の神と出会った旅 若松 陽子

小説同人誌評 15

鬱を吹き払う文学の力 細見 和之

詩時評 5

松本 衆司

■6月号 在校生作品特集号 (629)

詩

ホルモン屠るもん 章湖

シリア砂漠 AD2000 常木みや子

空堀のせせらぎ 三村あきら

エッセイ

関東大震災 被服廠跡地の災害 杉田幸茂

アホの顔末 新谷翔

海翔ける馬 辻岡いつか

小説

今日は珍しく穏やかで優しい雪が降っていた 西森広馬

ある映画俳優の回想録 松宮信男

鐘 川端柳花

桑実胚 大葉千穂

雪姐御 ふじたごうらこ

けったいな犬やっかいな猫 切塗よしを

表紙のことば 樹林/大葉千穂

編集後記 中野雅丈

■7月号 通信教育部作品集 (630)

□研究科/小説1組

思慮深い乙女 織部 なな
コーヒー騒動 持田 和

□研究科/小説2組

言い訳 大森 小石
形のない石 切塗よしを

□専科/小説1組

山田はどうした 松 良子
トイレのA子さん 世花 むむ
そうして、誰かの一冊に 浅野 新

□専科/小説2組

空色の箱 久里 しえ
昇 山田 眞美

□本科/小説1組

鈴の音 海野あかり
おばあさんの千畳敷 こかげ恵子
旅立ち 西之宮学文
世界の端で静かに死ねたなら。 西塔 ゆき
蝶の舞う部屋 吉野ことみ

□本科/小説2組

カッコウの巢 妹尾 円
さっちゃんのみみつ 木下 舞
雫 石川 宰
恋の言葉が色あせても 野口 剛
ゆうかん日記 藤井千代江

□エッセイ・ノンフィクション

私の音楽手帖(その一) 中村優美子
御坊・湯浅へ夫をつれて 新田 聡子
先生 萩 由布
大阪文学学校と私 二谷世津子
三人の九十五歳 八木 宇美

□専科、研究科/詩・エッセイ

昔話 遠野まほろ
引換券 正木ふゆみ
ファインプレー 小寺 俊江
ホタルイカ 樫原もえぎ
今日をめぐり 森田美千代
待ってくれ 今井 清博
入院と過去への旅 濱本 哲
青い目の海 藤井三千枝

□本科、専科/詩・エッセイ

あたま て あし しっぽ うめのしとみ
根本君 新 いさる
豪勢な大そうじ 篠宮 晴子
いい夫婦 阪井 達生
膝小僧 長嶺 幸子

終りとはじまり 1 佐藤 利加
關を通過して…… 上田以津子

■ 8月(秋)号 本誌 (631)

特集
大阪文学学校賞・小説部門一覧・選評 高島 寛
振り返って期待すること 尾川 裕子

文校賞(小説部門)の書き手たち
ヒヨコの日 早水 瑠美
泄 大新健一郎
天使の駅 石井 渉
ラブレター 泉 ふみお

(第37回大阪文学学校賞受賞作/エッセイ・評論・ノンフィクション部門)
ランナーな私 羽生 未来

書評
松田伊三郎『漂着』 日野 範之
山田兼士『詩の翼』 神尾 和寿
細見和之『ニーチェをドイツ語で読む』 四元 康祐

連載講座 小説表現の基本 三
筋の展開のさせ方 一情的内部中心の筋 奥野 忠昭

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ③
迷いこんだ幻の家 真銅 孝

秀作の樹・個性の花
詩
仮面劇場 新 いさる
小説
ジルコニアの泪 渡邊 伊織
抜け道の先 橋本 燈
隠しごと 世花 むむ
エッセイ
白い花 うめのしとみ
(昼・文章講座課題作品)
残像 山中 真清
アイス 村田喜代司
かあちゃん 中小路そら
くまおばあちゃん 熊谷真由美
ふうやのおっちゃん 竹田多恵子

小説同人誌評 16
作品のなかでこそ出会える世界 細見 和之
詩時評 6
松本 衆司

■ 9月号 通信教育部作品集 (632)

□ 研究科/小説2組
夕風 安藤 容子
「お早よう」 藤田 友房
□ 研究科/小説1組
親指の爪 西田恵理子
御伽草子・蛤姫 白石 宏平
□ 専科/小説2組
夢みる頃を過ぎたら 大西 晃代
顔のない水先人 横田 理恵
(続①) 幼い殺人 ——五十歳の圓美—— あすなる・けい
生 定行 真希
□ 専科/小説1組
いつでも希望を 谷口 恭一
回転木馬の少女 山岡 弘枝
□ 本科/小説2組
鯨のこゆび 青木 千夏
傘 有本 友美
面白生物 石川 宰
歩く人 妹尾 円
□ 本科/小説1組
秋の晴れた日に(2)母 長櫓 文子
いゆう 須藤 洋平

面影 佐々木一郎
□ エッセイ・ノンフィクション
片道切符の移民の語り 水島 瞳
私のペンパル Alisonさん 二谷世津子
太陽光発電のある家への道 1 吉田 久美
こどものいる処 都市圏のブラック化する保育現場で 山名 萌

絵
「同じ穴のムジナ同盟」の締結 八木 宇美
世界一陽気なお墓とお弔い 侑生 昌子
夏柑糖(なつかんとう) 河原美津子
□ 専科、研究科/詩・エッセイ
最後の砂粒が落ちる 今井 清博
切符 縦原もえぎ
雨音をさく 森田美千代
花街・今里新地 濱本 哲
親様のウンチ 最近 小寺 俊江
雨の日 藤井三千枝
キョーコさんは、今日も行く 野原よう子
□ 本科、専科/詩・エッセイ
ご先祖さんへ 篠宮 晴子
お馬鹿さん 新 いさる
かくれんぼ 阪井 達生
カラス 長田早智子
返信 うめのしとみ
寿限無 上田以津子

■ 10月号 入学案内書 (633)

掌編小説 生 定行真希
在校生の声 今西亮太/海野あかり/長田早智子/廣井マコト/宇
都宮優子/宇定記保/高橋達夫
学生委員会の活動 新谷翔

■ 11月号 在校生作品特集号 (634)

詩
待っている 矢野美佐子
風にゆれる なかもりあつこ
赤い木の実 うめのしとみ
いちご月の夜 奈穂子
残像 山中真清

エッセイ
譲り葉 青山トーゴ
忘れえぬ先生 学文
小さな旅で見た大きな国 小池Q

小説
空の向こう側 久里しえ
浩美と里香の隠しごと 乗鞍恒成
花菖蒲 坂井陽
辞書物語 谷河良彦
岸和田合戦顛末記 中野雅丈
真夏にサンタクロースは来ない 今西亮太

表紙のことば 時間の凝固/辻明依
編集後記 中野雅丈

■ 12月(冬)号 本誌 (635)

第19回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・金田久璋『賜物』
【受賞】詩評論書・樋口良澄『鮎川信夫、橋上の詩学』
選評・金時鐘/倉橋健一/小池昌代/坪内稔典
第19回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

特別講座 『私』を描くということ 佐伯 一麦

文章講座特集
詩の連続講座(昼)について 山田 兼士
文学・文章講座 日野 範之

追悼
竹内和夫さんと大阪文学学校 日野 範之
伴走者の文学 夏当 紀子

竹内和夫さん、ありがとう！ 野元 正

小説
抱擁 田中 信子
わら草履 三村 晃

連載講座 小説表現の基本 四
小説独特の書き方—小説は作者が書いているのではない
—視点・述べ手について (一) 奥野 忠昭

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ④
人との出会い 高島 寛

書評
梅本修一郎『私の桃花源記』 葉山 郁生
澗沢純平『遅れ時計の詩人—編集工房ノア著者追悼記』 日野 範
之
竹内英海『寒い月』 平野 千景
甘里君香詩集『ロンリーアマテラス』 三井 喬子
嶺月耀平作品集 前田 美樹

秀作の樹・個性の花
詩
カナカナが鳴く 今井 清博
桜 遠野まほろ
小説
夏の海 浜 幸子
しょうちゃんとぼく 佐々木 鈴
正義のあるところ 木津川伊吹
写真 佐々木由菓
点滴スタンドを振りかざし 塚崎 貢
昼・文章講座 課題作品
千代ちゃんのテルテルぼうず 二谷世津子
老犬の目 村上 美鈴
朝起きると雨だった 山中 真清
六センチメートル 石原はるひ
あゆむくん 佐々木一郎
伯母 吉野ことみ
自転車事故 やましたやすし
その一言 植 雅弘

小説同人誌評 17 モデルと作品のはざままで 細見 和之
詩時評 7 松本 衆司

【2018年】

■ 1月号 通信教育部作品集 (636)

□研究科/小説1組
白い空 渡辺 庸子
蛇の水面 山岡 弘枝
□研究科/小説2組
最期の羞恥 岡崎かしす
北の漁場 山下 悦夫
夏休みは 終わった 石田 理絵
なじめぬストーリー (夫婦編) らく・せん
□専科/小説1組
水仙のたたずまい 指尾 成俊
鉄人二号 木下 舞
□専科/小説2組
カミサマのお隣さん 雪田 倫代
言うなよ 村田喜代司
□本科/小説1組
眼科よもやま話 織田 万里
ロマン・ロラン『魅せられたる魂』によせて 勝川 京
子
アメリカ異聞 その一 矢部 学
いつかいく道? いつか来た道? 橘 日和
最期の贈り物 下里 厚子
□本科/小説2組
誤配 有本 友美
金沢 石川 宰
スノーランド 青木 千夏
ゆうかん日記 その三 藤井千代江

□本科/小説3組
スクール 沖 よう
川口くんがいない 宮村 夏子
真冬の吐息 竹永 慎平
赤い花の庭 中原 なも
□エッセイ・ノンフィクション
パリを激走 小宗 明子
母は反面教師 篠田 恵子
子離れ頼末記 吉田 久美
結婚させよう 山上ゆたか
「癌」と告げられて 水島 瞳
がんを乗り越えた自転車冒険家 河原美津子
□専科、研究科/詩・エッセイ
夏みかん 樫原もえぎ
枯れ木 正木ふゆみ
命の食じ 小寺 俊江
晩夏 萩原 恭介
心臓は心 今井 清博
「私宅監置」展 濱本 哲
河道 一 遠野まほろ
慈愛 藤井三千枝
義母の記 野原よう子
□本科、専科/詩・エッセイ
黄色で青い街 うめのしとみ
巻き舌の練習 篠宮 晴子
蟬の一生 駒井 美代
輪舞 上田以津子
ピン 長田早智子
愛しいもの逝く 瀧本めぐみ
ホームに立つ人 野田ちひろ
ゾンビのZ たてかわともひこ
人生塞翁が馬 (三 忘れもの) 多田野順平

■ 2月 (春)号 本誌 (637)
第19回小野十三郎賞受賞作品+受賞者インタビュー+記念講演+記

念座談会
受賞挨拶・作品
金田久璋『賜物』(抄)
樋口良澄『鮎川信夫、橋上の詩学』(抄)
インタビュー
【受賞者】金田久璋【聞き手】中塚鞠子
【受賞者】樋口良澄【聞き手】細見和之
最終候補詩集(抄)
金堀則夫『ひの土(ルビ●と)』/河津聖恵『夏の花』
林 美佐子『発車メロディ』/龍 秀美『父音(ルビ●ふいん)』
記念講演
「現代詩と俳句」坪内稔典
記念座談会
倉橋健一/小池昌代/坪内稔典/進行役:細見和之

特集 チューター推薦者の作品
中学時代 いしだひでこ
月夜 うめのしとみ
太刀魚さんの不思議 荻野真理子
鳥になる 加納由将
詩三題 朽葉 充
原っぱ 阪井達生
鶴橋のひとよ しのみやはるこ
土の記憶 島すなみ
河の道 遠野まほろ
置き去り 畑 章夫
ほたる 藤井三千枝
夕飯前 松永アズサ
静かな情熱 三村あきら
橋守 山林せいいちろう

詩+近況
またも年は去り 金 時 鐘
魂がコロんと 川上明日夫
大阪マラソン 高田文月
トラ猫の夢の世界 富上芳秀
洗濯機 中塚鞠子
じえいたいに入るう 言いやんねん ひしきべに
ジンバブエ、石の家 細見和之

落ち葉ひらひら 松本衆司
羽の音が告げたこと 山田兼士

小説の文章講座(前) 小説の基礎篇 全十二回 葉山郁生

連載講座 小説表現の基本 四
小説独特の書き方—私の勤める視点・述べ手
—視点・述べ手について (二) 奥野忠昭

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ⑤
自由な私を探して 浜田紀子

秀作の樹・個性の花

《エッセイ》

吉祥 うめのしとみ

動物園、なくなってもいいですか 小池 Q

《小説》

ハチクマ 鴨居ろくすけ

独りで 蒼井ふみ

水音になるとき 竹本陽子

イチゴとベルガモット 石原はるひ

《昼・文章講座 課題作品》

ギャツ 河原美津子

バハティの手 井波十歩

手で視る 竹永慎平

小説同人誌評 18 現在の断絶、境界、繋がり 細見和之
詩時評 8 松本衆司

■ 3月号 通信教育部作品集 (638)

□研究科/小説2組

家族 森園 哲也

タンポポ 鮎沢しほり

雨蛙 五月 生

同級生 北 みちこ

□研究科/小説1組

すべる、落ちる 木畑 ひろ

隣人の愛 沖津藻敏彦

□専科/小説2組

恋がいつか涙に変わる時 野口 剛

オペラグラスとポメラニアン 磯村 柚依

□専科/小説1組

金色のミリオーネ 林 泉

恋は異なるもの 谷口 恭一

藍よりいでて 杉原たえこ

□本科/小説3組

パーソナルプラン 山崎 義文

動かぬ女 竹永 慎平

□本科/小説2組

ゆうかん日記 その四 藤井千代江

キムチ鍋 石川 幸

竹の花 有本 友美

家出ボーイ、エレベーターガール、 中能 茜

□本科/小説1組

伊豆へ 浜 幸子

青月の窓 改 海野あかり

湖に尖塔の影、揺らぐ 佐々木一郎

子どもドロップ 西塔 ゆき

□エッセイ・ノンフィクション

好きだったのに辞めた売店 吉野眞理恵

「NO!」と叫ぶ おばさん達 八木 宇美

私たちの日々(2) うめのしとみ

シスターシティ 辻井 利昌

ドイツの人々・男女のかたち(一) 水島 瞳

祖母がくれた絵葉書 河原美津子

池 山仲ゆたか

□専科、研究科/詩・エッセイ

夜景 遠野まほろ

クツ 野原よう子

芋らの残像 藤井三千枝

母さん、寝たきりでない 小寺 俊江

待合室 濱本 哲

落ち葉 樫原もえぎ

ドイツから日本へ 萩原 恭介

たまゆらの命 今井 清博

□本科、専科/詩・エッセイ

落ち鷹 長田早智子

とつぶん うめのしとみ

詩作 駒井 美代

泣きたいほど 瀧本めぐみ

詩を書く人であるために 野田ちひろ

遊ぶ しのみやはるこ

義士茶会 上田以津子

分かるまでに時間のかかったこと たてかわともこ

二億円 多田野順平

■ 4月号 入学案内書 (639)

掌編小説 最期の羞恥 岡崎かしず

在校生の声 長谷和浩/大木夏子/坂本幸子/瀧本めぐみ/谷実紀

/上田以津子/橋本友希

学生委員会の活動 窪野元

■ 5月(夏)号 本誌 (640)

特別講座 作家になるための努力の仕方 木下昌輝

第38回大阪文学学校賞発表

〔選評〕津木林 洋/平野千景/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音谷健郎

●(小説部門) 受賞作品…「けったいな犬やっかいな猫」切塗よしを

●(詩部門) 受賞作品…「おみやげ」島すなみ

【佳作】「シリア砂漠 AD2000」常木みや子

【奨励賞】「月夜」うめのしとみ

●(エッセイ・評論・ノンフィクション部門) 受賞作品…「祖母の来た道」西清治

小説

奈津の乳房 高島 寛

ロバート・プリン氏の赤と黒 真銅 孝

レポート

訪中記 ——南京事件八十年・平和法要に参加して 日野範之

小説の文章講座(後) 小説の基礎篇 全十二回 葉山郁生

連載講座 小説表現の基本 六 具体的に描けば「描写」だと思ってい
ませんか

—「描写」とは? 「えせ描写」とは? 奥野忠昭

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ⑥

(一)文校存続の危機を救った三人(二)表現に対する切実な飢え(三)文校教室
について 日野範之

書評

中塚鞠子『わたしの草木逍遥』 近藤久也

中西義明『葦の中の迷路』 日野範之

秀作の樹・個性の花

詩

移行時代 南条ひろし

流れ 阪井達生

日曜日 長田早智子

エッセイ

トリカヘチャタテは女が男 植田守彦

小説

新しい記録として 井山 卓

橋を 吉野ことみ

櫃の中 安西美千代

昼・文章講座課題作品

卓球選手の手記 二谷世津子

空の遠くの白い火 井波十歩

小説同人誌評 19 なぜ書くのか 細見和之

詩時評 9 詩は pity のうちにある 松本衆司

■ 6月号 在校生作品集号 (641)

詩

ぜんちゃん ミモザ
ニセアカシア 辻岡いつか
前夜あるいは状況ってやつ 朔良魁
青虫よ なかもりあつこ

エッセイ
片道切符の移民たち 水島瞳
出禁 新谷翔
押し寄せる野生 太刀野紫

小説
ポリドール池 松本元
春愁 勝村元彦
少年という季節 青山トゴ
返り梅雨 加藤清三郎
志願兵 神谷透
ちょうどいい場所 中能茜

表紙のこぼれ スイトピー／夢世子子
編集後記 王玉婷

■7月号 通信教育部作品集 (642)

- 研究科／小説1組
愛子ちゃん 浪花 涼女
執行猶予残り十三日の男 西原 英司
- 研究科／小説2組
黒南風 山下 悦夫
白妙猫 仲井 杏奈
- 専科／小説1組
家具 持田 和
なぜ運転を? 松 良子
ピエロ 夢野 十彩
眼科よもやま話 (その五十「コンクリートとハムレット」)
織田 万里
- 明日への道 吉田こころ
あの日(テンメ池) 仲野 和秀
- 専科／小説2組
父との約束 指尾 成俊
奥脇村の下がり藤 有本 友美
菊江 中村優美子
恋は異なるもの 谷口 恭一
- 専科／小説3組
新釈一寸法師 白石 宏平
架空の花 野口 剛
- 本科／小説1組
無垢のいのち 総山 正行
アオサギ イム・ファチ
家をしまう 垣江みよ子
pray 松谷 尚紀
- 本科／小説2組
実家(田舎)に帰ります。後は追わないで。 矢野 将
- 規
車内にて 南水 梨絵
ある秋の日 中原 なも
桜が散る頃 山泉 大慈
さよならとなにか 山村 真生
- エッセイ・ノンフィクション
オレンジ色の空 小宗 明子
わが祖母の記 青木知津子
リョウ子さんとお母さん 1 吉田 久美
慰問袋物語 二谷世津子
人間回復の橋 のうる
- 専科、研究科／詩・エッセイ
ドア 遠野まほろ
影踏み鬼 縦原もえぎ
古希の引越し 濱本 哲
追憶 今井 清博
スプーン 小寺 俊江
あの音を、再び 萩原 恭介
誰も見ていなかった 野原よう子
ぼとん ぷーう 晴 子
- 本科、専科／詩・エッセイ
有性生殖に向けて うめのしとみ
鳥の来る庭 瀧本めぐみ

一步 梅 咲代
自分自身にエールを送る 野田ちひろ
つかめないわたし 皆川 節子
父と子の会話 三ツ谷直子
噴水 幸嶋 正
スクランブル交差点 長田早智子
骨董 野々 ゆか
父と兄 多田野順平
育てる仕事 たてかわともこ

■8月(秋)号 本誌 (643)
特集 小説、何を書くかよりどう書くのか 津木林 洋
小説
小説友達 藤本紘士
贗夢譚 稲葉祥子
ランドルト環 岡田智樹
小説の生まれるところ 染谷庄一郎

〈第38回大阪文学学校賞受賞作／エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉
祖母の来た道 西 清治

三島由紀夫『潮騒』の新資料発見などについての報告
資料——三島由紀夫『潮騒』の新資料内容(書簡について)
安芸宏子

連載講座 小説表現の基本 七「語り」と「描写」はどう違うのか?
—「語り」の中に「現在の表現」を混在させることも可能 奥野忠昭

書評
たなかよしゆき『宇宙の愛』 中塚鞠子

秀作の樹・個性の花
エッセイ
春はまだかしら? うめのしとみ
ルワンダジェノサイド — 日本女性との交換記 水島 瞳
小説
ユリカモメの標的 栗城結実子
光射すリヴィングルーム 浅沼孝子
熟柿 森野康子
木の芽どき 村上美鈴

小説同人誌評 20 人間病の諸相 細見和之
詩時評 10 「幸福の約束」としての詩 松本衆司

■9月号 通信教育部作品集 (644)

- 研究科／小説2組
元気なお返事 坂井 陽
入道雲と咳 藤原 修
- 研究科／小説1組
蛍と青い性 渡辺 庸子
デラシネよ 沖津藻敏彦
- 専科／小説3組
生きて行く あすなる・けい
インコと旅する 石田みち江
らぶt oウソ 野口 剛
裏切り 白石 宏平
- 専科／小説2組
木偶な奴 三村 晃
柱時計からのお知らせ 明日香二郎
- 専科／小説1組
ピラカンサの林の中で 山内賀代子
声 春山 武史
橋の上で 仲野 和秀
水のトラブル 持田 和
- 本科／小説2組
ガジュマルの木 玉城 一志
河岸の恋人たち 南水 梨絵
すえひろ公園 田口たつお
新都市伝説—少女編— 矢野 将規
- 本科／小説1組
猫 梶月あや子
八重はん 衣奈 響子

巨大ヤモリ 立石 博映

□エッセイ・ノンフィクション

過日の友 水島 瞳
イタリア旅行雑感 新田 滯
謎の館へようこそ 小池 Q
母の入院 八木 宇美
私たちの日々(四) うめのしとみ

□専科、研究科/詩・エッセイ

帰り道 遠野まほろ
梅雨入りの矢田寺 濱本 哲
イキ 樫原もえぎ
確信の五歳 しのみやはるこ
草取りのこぜりあい 小寺 俊江
朱鷺はささやきました 今井 清博
ご機嫌いかが 萩原 恭介
宿題と試験 三木もちゅう

□本科、専科/詩・エッセイ

さ うめのしとみ
お彼岸の夜 長田早智子
迷子 野々 ゆか
手袋 三ツ谷直子
介護日記(淋しさ) 皆川 節子
ものおもいつれづれ 瀧本めぐみ
心のまなこ 梅 咲代
旅先のカフェで 野田ちひろ
家路 青桐 雪彦
紫陽花 辛嵐 正
枯木に花を たてかわともこ
人生塞翁が馬 多田野順平

■10月号 入学案内書(645)

短編小説 八重はん 衣奈響子
在校生の声 森田晏史/鷺見京子/博多安美/皐月あや子/玉城一志/小宗明子/星野太郎
学生委員会の活動 窪野元

■11月号 在校生作品特集号(646)

詩
くもら 高田円
お父さんの詩 川端柳花
塑造 矢野美佐子
ともだち 中井一弘
ひろば まがり奈緒

エッセイ

私の地層 村上美鈴
野菜嫌い 谷河良一
叔父の論文 植田守彦

小説

宵待舟 丸山温道
白い道 凜々佳
波がおしえてくれた 伊藤宏
「かいらし」～文七元結(落語)より 大葉粒
夜警 長谷一馬

表表紙のことば 花冠/一式亜貴子
裏表紙のことば 黒い太陽/佐藤剛外

■12月(冬)号 本誌(647)

第20回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・西岡寿美子『シバテンのいた村』
【受賞】詩集・吉田義昭『結晶体』
選評・倉橋健一/小池昌代/坪内稔典
第20回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

特別講座

読みたいものを書く 有栖川有栖
折口信夫と大阪 吉増剛造

詩と小説の架橋——詩チューター・評論家の勧める小説三篇
『変身』『東京日記』『雪国』 倉橋健一

小説を動かすドラマツルギー 神山睦美
詩文性と散文性の彼方から 川上明日夫
小説の中のポエジー 富上芳秀
架け橋なんていない 中塚鞠子
太宰治「葉」 細見和之
生きることの償いとして「詩」はある 松本衆司
詩の果実 蜜柑/檸檬/桜桃 山田兼士

追悼 竹内和夫ノート 北川莊平

連載講座 小説表現の基本 八

「書き出し部」はどうして作品中最も重要な箇所なのか? — 「書き出し部」で書くべきもの — 奥野忠昭

文章講座

古典は新しい(その1) 叙事文学『平家物語』——よみがえれ、叙事する視線
(その2) 源信『往生要集』——末法の世・地獄は問う
日野範之

書評

細見和之『「投壘通信」の詩人たち——〈詩の危機〉からホロコーストへ』 山田兼士
島すなみ『移動の記憶』 姜 信子
佐久間慶子『朱真珠』 大沢綾子
浜 幸子『日振島の空の下』 日野範之

秀作の樹・個性の花

詩
命のリズム 南条ひろし
お迎え 阪井達生
夢 朽葉 充
小説
ざっきん 井植亜弓
庭石 佐藤弘二郎
猫にまつわる物語 吉岡 豊
桜染物店 野々ゆか
昼・文章講座 課題作品
夏の果物 矢野将規
夜明け 木本和美
地下の戦士達 秦 美也子
向こう岸 中小路そら
筍 井ノ山奈津子
五時を告げた 四斗谷まいく
柱時計と家族四代 明日香二郎
わが子どもたち 村上美鈴
まつりの夜 南水梨絵
傘もっていきっち 加藤清三郎

小説同人誌評 21 日常のなかの危機 細見和之
詩時評 11 故知らぬ愁い 松本衆司

【2019年】

■1月号 通信教育部作品集(648)

□研究科/小説1組
箱 山岡 弘枝
供養 木畑 ひろ

□研究科/小説2組
プラハの夏 鶴川 澄弘
もしも「私」があなただったら らく・せん
サルコト 木下 舞

□専科/小説1組
大統領ヲ解放セヨ 中能 茜
花屋のサボテン 持田 和
赤ちゃんと私 上田 弘子
チイちゃんのパパ 浪花 涼女

□専科/小説2組
二つのしおり 明日香二郎
かぼちゃ 有本 友美
「目」について思うこと 中山 貴
結婚の条件 谷口 恭一

□専科／小説3組

ごめん 村田喜代司
夏の雪垣 藤波 集子

□本科／小説1組

今日もボートは湖上をゆく 垣江みよ子
旅の終い 総山 正行
掛軸 木下 喬
曲がり角 森丘ことり

□本科／小説2組

愛とは別のもの 鈴木 康仁
ヤマアラシの二人 山村 真生
ボタン蒐集家 南水 梨絵

□エッセイ・ノンフィクション

庭師の雑感 河井 恵次
家紋 萩 由布
猫なんか、とても飼えない 佐倉きな子
えほんのひろば 小宗 明子
銃後の日々——縁故疎開 二谷世津子
スリランカの島の生命力と共に 河原美津子

□専科、研究科／詩・エッセイ

才 樫原もえぎ
青いカーテン 今井 清博
梅雨の晴れ間に 萩原 恭介
大事なもの 大事な仕事 小寺 俊江
老木の梅の木がたたずむ山里の老人ホーム 濱本 哲
帰って来た愛犬 瀧本めぐみ
道成寺 遠野まほろ
ハゲるといふこと 三木もちゅう
黄色い雨靴を玄関に 野原よう子

□本科、専科／詩・エッセイ

させていただく 三ツ谷直子
ノックする人 青桐 雪彦
祈り 皆川 節子
診察室で憂える 野田ちひろ
ある時間 下田 年恵
地球が割れるほど 野々 ゆか
なぜ 辛嶋 正
汽笛 津島 あい
街の片隅で 長田早智子
殺さない理由 (正) たてかわともこ

■2月(春)号 本誌 (649)

第20回小野十三郎賞受賞作品+受賞者インタビュー+記念講演+記念座談会

受賞挨拶・作品
吉田義昭『結晶体』(抄)
西岡寿美子『シバテンのいた村』(抄)——挨拶・西岡達哉(受賞者の甥)
インタビュー

【受賞者】吉田義昭【聞き手】山田兼士
最終候補詩集(抄)
麻生直子『端境の海』/川上明日夫『白骨草』/田中清光『太平洋——未来へ』/楡久子『大人と宇宙』/服部 誕『右から二番目のキャベツ』
記念講演
「詩と批評について」倉橋健一
記念座談会
「詩人が詩以外に手を染めるとき」小池昌代/たかとう匡子/苗村吉昭/富上芳秀

特集 チューター推薦者の作品

ブルーモーメント 今井清博
陸の海 大槻睦子
深呼吸 大原素子
冬枯れ 加藤清三郎
三月 舞鶴/真夜中 国津洋子
からだを洗っていると 高橋達矢
みかえり阿弥陀 月川奈緒
風景画 遠野まほろ
ムーミンハウス 野々ゆか
梅雨入りの矢田寺 濱本 哲
足 三ツ谷直子
説くように葉は落ちつづけて 宮地浩子
学生竹光 矢野美佐子

詩+近況

形そのままに 金 時 鐘
もみじ葉 抄 川上明日夫
幽霊は、ほかの霊が見えるの? 真銅 孝
「岩井英数教室」という英語塾があった 高田文月
ババアの干物 富上芳秀
駱駝に乗って 中塚鞠子
列車は川近くになると 急に速度を上げる 菱木 紅
ピース 細見和之
まばゆい無色の鏡 松本衆司
エル・グレコの貴婦人 山田兼士

連載講座 小説表現の基本 九

比喩を大いに使ってみよう—新しい比喩についての考え方は? 奥野忠昭

文章講座

古典は新しい(その3) 謡曲『弱法師』——能 祈り・魂の救いへの 日野範之

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ⑦

大阪文学学校とわたし 岩代明子

書評

山田達雄『棲まう』 古賀大助
シャルル・ボードレル著、山田兼士訳・解説『小散文詩 パリの憂愁』 北村 卓

《詩》

帰宅 他二題 高橋達矢
《エッセイ》
水色の小紋 長田早智子
《小説》
カーネーション 松岡園子
《昼・文章講座 課題作品》
焼き物 木本和美
窓をコンコンッ 沖 よう
山の神さま 安西美千代
航路 高田まどか
秋桜 中小路そら
師走月 見峠りつこ
もう産まれる 河原美津子
お母さんは、ある日 中原なも

小説同人誌評 22 散文中オチは禁物? 細見和之
詩時評 12 流れる大きないのちの川 松本衆司

■3月号 通信教育部作品集 (650)

□研究科／小説2組

近所のヨッシー 高垣 龍法
挽秋 鶴川 澄弘
アゲハチョウ 鮎沢しほり

□研究科／小説1組

息災 織部 なな
旅立ちのハイウェイ・スター 世花 むむ

□専科／小説3組

巴〜女武者の恋〜 天河 発
これが返事や 村田喜代司
白い町 谷内 一美

□専科／小説2組

ほわいゆ 有本 友美
翠色の眸 中村優美子
隠れ家 三村 晃

□専科／小説1組

おとつとの夫 松 良子
何処かの誰かの話 —ショート作品— 中能 茜
エイリアン達(三択・マルチエンディング小説) 土井カツ
オシ

スクラップブック 持田 和

□本科／小説2組

泣いた赤鬼 鈴木 康仁
ヤンバルの森 玉城 一志
小鳥たちの声 内田ゆうこ

□本科／小説1組
 猫(続編) 皐月あや子
 妖精 岡原 郁子
 Romanzo——愛とヒロイズムの小説—— 松谷 尚
 紀
 □エッセイ・ノンフィクション
 電離層 村上 照葉
 サンフランシスコに行ってきました の う る
 いこいの森へようこそ 小池 Q
 お荷物 水島 瞳
 □専科、研究科／詩・エッセイ
 サヨリ 今井 清博
 椅子の夢 遠野まほろ
 ポストシュレーアリズムのための変調ソネット 三木もち
 ゆう
 病室の風景 濱本 哲
 森はにぎやか 瀧本めぐみ
 母の柿 小寺 俊江
 クリスマス嫌いの俺がクリスマスらしいことをしてみる 萩原 恭
 介
 高輪ゲートウェイ 樫原もえぎ
 陽だまり 野原よう子
 □本科、専科／詩・エッセイ
 キツツキ 野々 ゆか
 うどん 三ツ谷直子
 語り得ぬもの 皆川 節子
 夕暮れ 下田 年恵
 犬 青桐 雪彦
 秋月 津島 あい
 洋式トイレ考 野田ちひろ
 風呂敷 辛嶋 正
 最近の若い者は たてかわともこ

■4月号 入学案内書(651)
 エッセイ 水色の小紋 長田早智子
 在校生の声 藤目まなこ／油谷紬明／下田年恵／蒲乃膏／石田優輝
 ／根本あらんな／皐月あや子
 学生委員会の活動 窪野元

■5月(夏)号 本誌 (652)
 第39回大阪文学学校賞発表
 [選評] 津木林 洋／平野千景／細見和之／中塚鞠子／葉山郁生／音
 谷健郎
 ●〈小説部門〉受賞作品…「ポリドール池」松本元
 ●〈詩部門〉受賞作品…「からだを洗っていると」高橋達矢
 【佳作】「足」三ツ谷直子
 【奨励賞】「ひろば」まがり奈緒
 ●〈エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉該当作なし

異人・異物との出逢い

小説
 水の室 中丸惣太
 ハンドリガード 大梅健太郎
 安達ヶ原に住まうもの 美月麻希
 エッセイ
 私の大阪文学学校 国方 勲

連載講座
 小説表現の基本 十 筋についての再考——筋は小説の要
 —小説の筋は、ストーリー的ではなくプロットのなければならない
 が、プロットの筋とはどのような筋を言うのか?
 奥野忠昭

文章講座
 古典は新しい
 (その4) 文楽・近松門左衛門『曾根崎心中』——劇詩 この世のな
 ごり、夜もなごり
 (その5) 鶴屋南北『東海道四谷怪談』——歌舞伎・骨太の登場人物
 たち
 日野範之

リレーエッセイ
 私が出会った大阪文学学校 ⑧

私と大阪文学学校
 富上芳秀

書評
 山本佳子『北京の階段』 長瀬春代
 阪井達生『雨の日のポトフ』 中塚鞠子
 小澤房子『白木蓮』 日野範之

秀作の樹・個性の花
 エッセイ
 母の特養入所 八木宇美
 小説
 許容範囲 木畑ひろ
 喫茶パークサイド 谷河良一
 ヨナキドリ 井上幸子
 新井くんのビー玉 竹田多恵子
 昼・文章講座 課題作品
 ゲーテの白い夏 見峠りつこ
 薔薇の花を一輪だけ 南水梨絵
 平成の記憶 秦美也子
 着物の詩(ルビ●うた) 木本和美
 小さな鈴 中原なも
 巡回中 まどか
 粗忽猫 森田晏史

小説同人誌評 23 人生の滲み、その味わい 細見和之
 詩時評 13 表現するとは、黙する事 松本衆司

■6月号 在校生作品特集号 (653)

詩
 カジクオ よしたろう
 壊れかけのラヂヲ 荻野真理子
 エスケープ 朽葉充
 生の灯 いしかわつよし
 ペン先 津島あい

エッセイ
 モモのいた風景 おなほひろこ
 はぐれものの飼犬 黒いわえん

小説
 水かけ着物 松本元
 それ以外全部を、あなたがくれても 衿さやか
 伴に『三悪道』に在りて 松宮信男
 僕を呼ぶ声 佐々木スズ
 ライダーをたおす 高田雅司
 青春譜 太刀野紫

表紙のことば 月の男／青桐雪彦
 編集後記 寺西正人

■7月号 通信教育部作品集 (654)

□研究科／小説1組
 骸人 吉岡 豊
 生田東門筋 浜崎 壬午
 行火 尾崎 康宏

□研究科／小説2組
 ピエロ 上田 弘子
 内台航路 松本 元
 □専科／小説1組
 黒い指 麻乃 朱夏
 田舎の春 内山 秀樹
 まつりの夜 南水 梨絵

□専科／小説2組
 塚の恋 谷口 恭一
 靴下(「ラジオと山羊とミン」の一部) 結城 まり

□専科／小説3組
 夏フェス!行くぜ! 石田 理絵
 すきま風 長尾 雅弘
 改元の日 山県 大慈

□本科／小説1組
 せいことおじいちゃん 麦野 あき
 遅い婚活 宮野 のま

指輪 木下 喬

□本科／小説2組
バックヤードバトル 堀尾 俊
夏の日の思い出 松井 佑輔
桜 星野 陽子

□エッセイ・ノンフィクション
樹里ちゃんはいらい 新田 滯
かず 小宗 明子
父の日のプレゼント 河原美津子
オランダ旅行日記 萩 由布

□専科、研究科／詩・エッセイ
神を見た午後 瀧本めぐみ
爪を切る 長田早智子
コーラ 樫原もえぎ
ベンジャミン、ベンジャミンよ 野田ちひろ
わた雪 今井 清博
缶スープ 萩原 恭介
秋のゆめ 高橋 達矢
正月 小寺 俊江
マッカーサーと呼ばれた女 野原よう子
飲み屋で「厄」落とし 濱本 哲
三つ目の椅子 遠野まほろ

□本科、専科／詩・エッセイ
スマトラトラ 野々 ゆか
月との対話 皆川 節子
そら豆のあかちゃん 太刀野 紫
あんぱんシャバダバ 夢野 十彩
遠くの友に 青桐 雪彦
あの日 下田 年恵
休日 たてかわともこ
鶏卵の思いで 久保 孝夫
道 三ツ谷直子
蟹場温泉 山本 善徳
笑窪 津島 あい

■8・9月号 通信教育部作品集 (655)

□研究科／小説2組
夢の浮橋 有汐 明生
夢 森園 哲也

□研究科／小説1組
蛍の橋 渡辺 庸子
水色の自転車 有本 友美

□専科／小説3組
妹 白石 宏平
機械やモノたちのおしゃべり あすなる・けい
ぶどうの道 村田喜代司

□専科／小説2組
呪文 明日香二郎
精霊たち 中村優美子

□専科／小説1組
美しき静寂 南水 梨絵
過去にやさしく 麻乃 朱夏
温泉旅行に行きましょう。 総山 正行
父の物語 垣江みよ子

□本科／小説2組
母の逝去 水野 幹
樋上家の負け犬 藤目まなこ
百姓天仰ぐ 華 早余
いきぐるしい程の愛 永井 文音

□本科／小説1組
季節はずれの蛍 岡原 郁子
菊変化 木下 喬
映画「拘束と初穂」 村井 建一

□エッセイ・ノンフィクション
個人支援ボランティア 八木 宇美
老いの母と暮らせば 山名 萌絵
長生きはしたけれど 佐倉生成子
耳鳴りと米軍ヘリ おなほひろこ
銃後の日々——欠乏三題 二谷世津子

□専科、研究科／詩・エッセイ
椅子一つ 遠野まほろ
ふいに甦る 野田ちひろ
梅雨を待つ有田川 濱本 哲
季節を味わう 萩原 恭介

春の土手 瀧本めぐみ
おバケーション 樫原もえぎ
古酒 長田早智子
脱皮 今井 清博
ちいさな立ち往生 高橋 達矢
母の日 小寺 俊江
行先が ワカレバネエ 野原よう子

□本科、専科／詩・エッセイ
夏の終り 青桐 雪彦
ヒツジの夢 野々 ゆか
大名行列のように 下田 年恵
歳月はそこに並ぶ絵のように 三ツ谷直子
ただそれだけのこと 久保 孝夫
僕はあめんぼ 山本 善徳
戦場でサンドイッチを 夢野 十彩
グラスの上 太刀野 紫
舞い散るはなびらの元に 皆川 節子
お役所仕事 たてかわともこ

■10月号 入学案内書 (656)

エッセイ キョーコさんは、今日も行く 野原よう子
在校生の声 平良みなみ／梅澤／堀川諭／清水美佐江／吉川道廣／
皐月あや子／森野十駕
学生委員会の活動 窪野元

■11月号 在校生作品集 (657)

詩
僕は詩人じゃなかった 中井一弘
傀儡犬(くぐつけん) 有本友美
わしは綿雲 いしかわつよし
粘土飛行船 たてかわともこ

エッセイ
亡き父の心尋ねて 琴はるか
Yさんの風 堀尾俊

小説
紫の旗 佐伯厚子
猫の夢を解く 若松亨尚
ミラーコンプレックス 宇都宮優子
はいやそ 大市賢太郎
ザリガニのメッセージ 長谷一馬

表表紙のことば 土偶／八木宇美
裏表紙のことば 谷町の茜空／いしかわつよし
編集後記 寺西正人

■12月(秋期)号 本誌 (658)

第21回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・犬飼愛生『stork mark ストークマーク』
【受賞】詩評論書・添田馨『クリティカル=ライン 詩論・批評・超=批評』
詩集選評・倉橋健一／小池昌代／坪内稔典
詩評論書選評・葉山郁生／細見和之／山田兼士
第21回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

詩+近況
詩集の岬で 川上明日夫
転校生 真銅 孝
大阪市営バス「あべの橋」行き 高田文月
管の中の家畜 富上芳秀
悲しみの 中塚鞠子
サイゼリアでアーリオオーリオを食べてたら 菱木 紅
星ほどに遠くて 細見和之
ギフト 松本衆司

特別講座 カフカと私 辻原 登

追悼
田辺聖子さんと初期の大阪文学学校
長谷川龍生さんと大阪文学学校
日野範之

連載講座

小説表現の基本 十一

筋についての再考二プロットの筋で書くためには？
および、筋の間に割りこんでくるもの
奥野忠昭

文章講座

古典は新しい（その6）

ギリシャ古典劇『オイディプス王』『女の平和』

——オイディプスは私だ

日野範之

リレーエッセイ

私が出会った大阪文学学校 ⑨

私と大阪文学学校

中塚鞠子

書評

室伏修司『ある脱耕者の物語』 日野範之

服部品子・訳『スコットランドの妖精物語』 中塚鞠子

矢野美佐子『学生竹光』 阪井達生

国方勲『桜町にいた頃・わが友、八田』 山本佳子

大西明子『神戸モダンの女』 須永和子

植田守彦著『雪の朝』 畑田耕一

竹岡一郎句集『けもの苗』 芦原瑞祥

秀作の樹・個性の花

《エッセイ》

42、195キロを走る 小宗明子

《小説》

いただきます 竹田礼子

竹の記憶 西堀康司

送り火 松島妃史

青春の北洋 山下悦夫

《昼・文章講座 課題作品》

あの日の父 結城まり

ラッパを持った天使 中能 茜

猫派・犬派論争の図 森 優博

献華 木本和美

跨線橋 加藤清三郎

声 秦 美也子

一期一会 ——その一・楡の木 大瀬美和

映画『二十四の瞳』を観て ——私の母のこと 久瀬恭子

【2020年】

■1月号 通信教育部作品集 (659)

□研究科/小説1組

おっおの兄ちゃん 浪花 涼女

倚門の望 指尾 成俊

屋号の景色 芳野さらさ

□研究科/小説2組

わすれもの 持田 和

邂逅 仲井 杏奈

□専科/小説1組

仲良しのアカシ 大西あきよ

冷蔵庫 岡原 郁子

□専科/小説2組

葉裏 梶月あや子

夕焼けのタワーブリッジ 内田ゆうこ

□専科/小説3組

攻城戦 森まさひろ

描写 ステーションピアニスト 石田 理絵

□本科/小説1組

霧の中 小谷 希絵

ニンソウの花 佐藤 光一

マスク 渡邊 純子

□本科/小説2組

離陸前夜 堀尾 俊

法悦と恩寵 まついゆうすけ

□エッセイ・ノンフィクション

閉院への日々——その一 水島 瞳

スーパーばあちゃん 八木 宇美

ひと夏の子猫 河井 恵次

子連れ駐妻の亜米利加見聞録 沖浦奈津子

赤煉瓦とマストの街 鉄骨ドームと七つの川の街——広島湾 二

つの軍都の戦後十年 村上 照葉

□専科、研究科/詩・エッセイ

命の値段 萩原 恭介

彼岸花 瀧本めぐみ

スモーキーグレーの窓口 樫原もえぎ

彼岸花 濱本 哲

召し上がってください 高橋 達矢

炎が走る 今井 清博

報得川の畔で 長田早智子

食物アレルギーに捧ぐ 野田ちひろ

卵 遠野まほろ

その席、空いていますか？ 野原よう子

母のことばがもどいたら 小寺 俊江

□本科、専科/詩・エッセイ

魚を描く 森 たねこ

部屋 三ツ谷直子

雨、いいお天気 山本 善徳

またひっかかった 久保 孝夫

つかれたままで 青桐 雪彦

愛しい日々 太刀野 紫

ウルトラの母 野々 ゆか

飛ぶ男 夢野 十彩

まだなにか告げようとしている 福井栄美子

■2・3月号 通信教育部作品集 (660)

□研究科/小説2組

「a」 井山 卓

淀屋橋のモーラ館 松本 元

□研究科/小説1組

黒い池の亡霊 世花 むむ

ある朝、誰かの人生が終わる 中能 茜

□専科/小説3組

わたしの右目におっさんが 山田 佳苗

四十九日には 衣奈 響子

□専科/小説2組

うおー 明日香二郎

つうりんぼ 梶月あや子

遺失物と同窓会 谷口 恭一

茅花流し 内田ゆうこ

□専科/小説1組

雑草ガーデン 垣江みよ子

谷口さんの憂鬱 岡原 郁子

クシャ 総山 正行

おんびんたれ 内山 秀樹

□本科/小説2組

はるさんの時間 縣 ひとみ

アジサイ 月盛 康太

いびきのぬし 堀尾 俊

□本科/小説1組

その角を曲って 溝口 明宏

おやつを買いに 麦野 あき

羽 梅澤

□エッセイ・ノンフィクション

加齢不安症 小宗 明子

評伝 九津見房子 第四章 ゴルゲ事件 堀 和恵

中国内陸都市を旅して 新田 滯

銃後の日々——出征兵士へ贈る 二谷世津子

あなたの遺したもの 大瀬 美和

□専科、研究科/詩・エッセイ

有るものを 小寺 俊江

一枚の葉書 萩原 恭介

知らない町の入りくんだ路地で 野田ちひろ

川蟹 濱本 哲

さざ波の琵琶湖 瀧本めぐみ

裏庭 遠野まほろ

コンビニ 樫原もえぎ

ある夫婦 野原よう子

ファインダーの向こうに 今井 清博

うしろ姿 高橋 達矢

魚売り 長田早智子
□本科、専科/詩・エッセイ
魂に弾をこめて 夢野 十彩
よっちゃん 野々 ゆか
このスタイルにおちつきそう 久保 孝夫
ねずみよ、ここは私の家だ 三ツ谷直子
ソフィー 青桐 雪彦
ブリを炊きながら 太刀野 紫

■4月号 入学案内書 (661)

短編小説 雑草ガーデン 垣江みよ子
在校生の声 山本楓/岡崎稿介/原口葵/山田佳苗/永井文音/小
西彩/山田文昭
学生委員会の活動 南成彦

■5月(春期)号 本誌 (662)

第40回大阪文学学校賞発表
[選評] 津木林 洋/平野千景/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音
谷健郎
●〈小説部門〉受賞作品…「三輪車と花束」南水梨絵
●〈詩部門〉受賞作品…「あみ」阪井達生
【佳作】「がらんどろ」遠野まほろ
【奨励賞】「峠のバス停」いしかわつよし
●〈エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉該当作なし

自分の中の異性性を見つめる

小説
ランドリー 水無月うらら
ビールさん 猿川西瓜
真冬の帯星 森戸晶子

連載講座

小説表現の基本 十二・最終回
筋についての再考三
—感情や気分や思いなどの心理を中心にした筋で書くには?
奥野忠昭

文章講座

古典は新しい(その7)旧約・新約聖書
—人間の愚かさや救い・物語の宝庫
日野範之

リレーエッセイ

私が出会った大阪文学学校 ⑩
私と大阪文学学校 津木林 洋

書評

上山和音『にじ姫さまのいるところ』 平野千景
久本洋文『庭の砂時計』 佐藤弘二郎
須永和子『梁太き家』 日野範之

秀作の樹・個性の花

詩
昔なじみ 遠野まほろ
聖域 朽葉 充
詩 二題 山上直樹
再生の朝 南条ひろし
小説
冬の年輪 シクラ奈津
怒ることを知れ 藤田友房
昼・文章講座課題作品
野々ゆか 太刀野 紫 村上美鈴 中能 茜

■6月号 在校生作品特集号 (663)

詩
ネコを塗る 都圭晴
君は聖書を携えて 浅井歌音
瀬戸内 芸南の春弥生 — 呉 廣島 残影 村上照葉

エッセイ

後継者 水島瞳
擬婉連想 島すなみ

小説

ポプラは見ていた 高琢基
ふくろう笛 愛染椿
辛夷の鉛筆 田中美美
前世面影小景 松本元
フジビタイ 土居理雅

表紙のことば 微睡みの窪地/田辺照子
編集後記 上田雄己

■7月号 通信教育部作品集 (664)

□研究科/小説1組
寂しさの音 中能 茜
コロナの春 日野あすか
□研究科/小説2組
ながい日 森上 晶
娘の結婚 内山 秀樹
□専科/小説1組
神様ががまん比べ 佐伯 厚子
あの世の須村 華 早余
菜園の虹 岡原 郁子
□専科/小説2組
蒼いピアノ 内田ゆうこ
岡崎さんのはさみ 麦野 あき
風の狼 長尾 雅弘
□専科/小説3組
その家の人々 垣江みよ子
トロイメライ 水木 文音
母の風邪薬 三村 晃
しょぼい異世界転生 まついゆうすけ
□本科/小説1組
パースト(一) 久田 功
Luna No. 4 —イタリアと音楽は裏切らない—
松山 尚紀
はるかな人 春まだあさき海へ 溝口 明宏
□本科/小説2組
メント・モリ 山口 ゆり
トミ子さんと洋子さん 関 篤子
背中 巴
□エッセイ・ノンフィクション
コロナとミシンと文学学校 石橋 純代
あの時の桜 宮嶋 英子
!? 森山美千代
メナドを探しにマナドを訪ねて 井上 浩一
母の死 柳 蒼波
どうでもよい事 福田 浩
物語を語る(作品選び) 松浦このみ
吃音の私 ~これから、ここから~ 入江 達宏
序盤戦 妹尾 美和
感染拡大を防げとは言うけれど 小宗 明子
□専科、研究科/詩・エッセイ
ソルヴェイグの歌 今井 清博
介護のピエジエム 小寺 俊江
軸 瀧本めぐみ
ティーカップに宇宙 野田ちひろ
彼岸の中日・浄泉寺 濱本 哲
春 野々 ゆか
宝物 遠野まほろ
キョーコさんは 今 野原よう子
□本科、専科/詩・エッセイ
空豆 青木 啓子
代田の裏通りで 白川 香
鏡の川 吉岡 和子
シナアブラギリが輝く時 草木 恵

■8・9月号 通信教育部作品集 (665)

□研究科/小説2組
渦潮 山下 悦夫
あらゆる岸辺に着く舟 南水 梨絵
□研究科/小説1組
蛇の水面(5) 山岡 弘枝
赤の記憶 麻乃 朱夏

- 専科／小説3組
朝の光のつづ 田中 信子
下郎の魄 三村 晃
- 専科／小説2組
緑の花が降ってきた 麦野 あき
祖母と母へのレクイエム 谷口 恭一
白木蓮 内田ゆうこ
- 専科／小説1組
晴、時々小説 下里 厚子
彼はいいんだ TSUKIMORI
勇者あああ 華 早余
こっつんこっつん 山本ゆき子
- 本科／小説2組
湯呑みと甲虫 猫田焚き火
二人の関係 縣 ひとみ
盆に帰らず 絹野 みち
- 本科／小説1組
越境 中村 文香
サラダデイズ 月川 奈緒
声 小谷 希絵
- エッセイ・ノンフィクション
書き続ける 宮嶋 英子
記憶 森山美千代
大切にしたいこと 松浦このみ
朝鮮仁川府万石町九番地 井上 浩一
呉越同舟 入江 達宏
危険なパパ活体験 福田 浩
コロナによって、見えたもの 石橋 純代
銃後の日々——空襲への備え 二谷世津子
- 専科、研究科／詩・エッセイ
浄瑠璃寺 濱本 哲
あの人 瀧本めぐみ
トタン雨 野々 ゆか
魂を磨きませんか 今井 清博
グラジオラス咲いた 小寺 俊江
冬晴れの日は 野田ちひろ
牛乳を注ぐ女——フェルメールの絵に寄せて—— 遠野まほろ
小町叔母さん 野原よう子
林檎 前田 渉
- 本科、専科／詩・エッセイ
二〇二〇年七月 青木 啓子
ソクラテスに会いに 吉岡 和子
消えた幻想（センダン） 草木 恵
くらちゃん 白川 香

■10月号 入学案内書（666）

短編小説 晴れ、時々小説 下里厚子
在校生の声 片岡美登里／井垣厚子／岡本無礼朗／松浦このみ／富田晋二／関篤子／小西彩
学生委員会の活動 南成彦

■11月号 在校生作品特集号（667）

詩
百足の問いかけ 村上照葉
黒と白 木下佳奈
飛翔する 植田守彦
ふんわりわたぐも 中小路そら
天界からの声 白川香

エッセイ

水道のこと 水田賢一
黒い花一向田邦子—— 森山美千代

小説

触れる 佐々木鈴
ねことり 大水青
心残り 平良みなみ
純ちゃんが居た街 水島瞳
ムパカの一生 大市賢太郎
風の彼方 やまやしげる

表紙のことは エンゼルトランペットの下で／大島ゆき

編集後記 上田雄己

■12月（秋期）号 本誌（668）

第22回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・今野和代『悪い兄さん』
【受賞】詩集・永沢幸治『賑やかな消滅』
【受賞】詩評論書・神山睦美『終わりなき漱石』
詩集選評・倉橋健一／小池昌代／坪内稔典
詩評論書選評・葉山郁生／細見和之／山田兼士
第22回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

詩＋近況

葉草・魂の途中 川上明日夫
子どもにしかできないこと 真銅 孝
お面 高田文月
よたよた歩く神さま 高橋達矢
夜の船 富上芳秀
夜へ 中塚鞠子
タクシーに揺られて 細見和之
雨音 松本衆司
秋の味覚 山田兼士

小説

栗の木虫 鏑 雅代
風声の島 神谷 透

文章講座

古典は新しい（その8）ダンテ『神曲』——人間実存の深み・危うさ
日野範之

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ⑩
熱くひりひりした季節 島田勢津子

書評

坪内稔典『早寝早起き』 中塚鞠子
夏木志朋『ニキ』／松ゆうき『ねこじゃらし、はねた』 森口 透
高原あふち『ハーヴェスト』 美月麻希
長瀬春代『海が見える』 石塚明子
霧山文三郎『負けてたまるか』 夢野こうじ
加納由将詩集『記憶のしずく』 島すなみ
木本和美『着物の詩』 見峠りつこ
泉りょう『無名峠』 三原后代
南 久美『夕姫とアカ爺』天草ファンタジー 日野範之
秋吉 好『田中桐江—ある隠儒の生涯—』 藤井知敏
山田兼士詩集『羽の音が告げたこと』『孫の手詩集』 高田文月
高橋達矢詩集『からだを洗っていると』 細見和之

秀作の樹・個性の花

詩
三宮の酒場にて 白川 香

小説

団交 油谷紘明
昼・文章講座 課題作品
同窓会 河原美津子
次の電車 甲木千絵
越中八尾 風の盆 加藤清三郎
湯船の旅 山口ゆり
えんそく 石森佳寿子
花壇の花たち 木下佳奈

【2021年】

■1月号 通信教育部作品集（669）

□研究科／小説1組

黄鶏 総山 正行
軋み 浜崎 壬午
檻 檀允 心実

□研究科／小説2組

イノシシの夏 鶴川 澄弘
亀の駆けくらべ 佐伯 厚子

□専科／小説1組

てのひら 坂本 幸子

ベートーヴェンとわたし 華 早余
夜 溝口 明宏

□専科/小説2組
サナギ 佐々木 鈴
ロケの町 縣 ひとみ

□専科/小説3組
ぐるぐる回るものについての回想 堀尾 俊
蟹 若松 亨尚

□本科/小説1組
ふたつのスノードーム 北川 ドリー
罪悪について 松山 尚紀
ブルーアワー 阿部津々子

□本科/小説2組
大津波 —私的『遠野物語』— 有田 美江
お帰り、自分。 嶋根 直樹
ハムスター 関 篤子

□エッセイ・ノンフィクション
思いが伝われば言葉なんて 入江 達宏
可愛いお隣さん 石橋 純代
玉砕の島を訪ねて 井上 浩一
米寿のギフト 二谷世津子
病と人生 宮嶋 英子
荒川氏の思い出 河井 恵次
素顔に出会う瞬間 松浦このみ

□専科、研究科/詩・エッセイ
『無人駅』から 長尾 雅弘
畑作りのエラー 小寺 俊江
鳴け鳴け蟬よ 野田ちひろ
ないしょ参り 野々 ゆか
君には見えませんか 今井 清博
がらんどろ 遠野まほろ
アイコさん 野原よう子
紫蘇 前田 涉

□本科、専科/詩・エッセイ
桃色の部屋 白川 香
故郷 宮田さよ子
楽しい時間 田中 啓一
如月の源光院 千田 美香
ヘクソカズラ 草木 恵
台所のホラーショウ ゆめのともこ
風 ビルー
明石海峡を越えた日 吉岡 和子
コロナと携帯とパソコンと 青木 啓子
人間関係 山中みつえ

■2・3月号 通信教育部作品集 (670)

□研究科/小説2組
浅やん55 岡原 郁子
鱈 梶月あや子
息子の彼女 山田 和矢

□研究科/小説1組
四分の一の狂詩曲 木津川伊吹
ツネの墓参り 山岡 弘枝

□専科/小説3組
らっ子 磯村 柚依
たらんちよ 山田 佳苗

□専科/小説2組
真夜中のコンビニで 中村優美子
搭乗前ロビーで 麦野 あき
ペーグル憎し 内田ゆうこ

□専科/小説1組
我が母の記 藤田 友房
ユウシャノウタ 大西あきよ
ブッダガヤ 山本ゆき子

□本科/小説2組
魂の行方 —私的・遠野物語— 有田 美江
化粧 関 篤子
泡沫夜咄 佐々木紫織

□本科/小説1組
迂回 宝田 夜市
シグナル・フロート 三宅 羊一
コイの引っ越し 村上 純子

□エッセイ・ノンフィクション
パンデミック、一年を経た混沌 新田 滯

袋いりますか 小池 Q
役割を終えて 水島 瞳
魔法をかけますよー 八木 宇美
織る編む 四辻 貴子
新地歴訪 と き 和

□専科、研究科/詩・エッセイ
補助輪 前田 涉
心に残る風景 長尾 雅弘
母さんの帰省 小寺 俊江
カタツムリ 野々 ゆか
空を見上げる 野田ちひろ
ランゲルハンス島の昼下がり 今井 清博
潜在能力 野原よう子
椅子がひとりで 遠野まほろ

□本科、専科/詩・エッセイ
ジェットコースター 田中 啓一
つきそい 千田 美香
ママへ 白川 香
骨 水方 りな
子どものころ 青木 啓子
濡れ衣 山中みつえ
さようなら ビルー
ピフと 草木 恵
ころはどこに ゆめのともこ
月光 宮田さよ子
冬の思考 吉岡 和子

■4月号 入学案内書 (671)

短編小説 搭乗前ロビーで 麦野あき
在校生の声 有田美江/西川弘志/葎本未織/井村由布子/佐々木
紫織/葉留光斗/森山美千代
学生委員会の活動 南成彦

■5月(春期)号 本誌 (672)

第41回大阪文学学校賞発表
〔選評〕津木林 洋/平野千景/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音
谷健郎
●(小説部門)受賞作品…「触れる」佐々木鈴
●(詩部門)受賞作品…「聖域(ルビ●サンクチュアリー)」朽葉充
【佳作】「百足の問いかけ」村上照葉
【奨励賞】「再生の朝」南条ひろし
●(エッセイ・評論・ノンフィクション部門)受賞作品…「一日二五
分の国際交流」沖浦奈津子

特集 群れと個人

小説
風の過ぎゆく 早高 叶
わたしたちの、ピースオブナノ 丸黄うりほ
魔の午後四時 佐藤弘二郎
波をみてたよ 吉中みのり

文章講座

古典は新しい(その9)セルバンテス『ドン・キホーテ』——近代精
神の始まり 日野範之

リレーエッセイ

私が出会った大阪文学学校⑩
変わらなくてもいい 若林 亨

書評

谷川俊太郎・田原・山田兼士『詩活の死活——この時代に詩を語ると
いうこと』細見和之
木澤豊『燃える街/羊のいる場所』 山田兼士
四辻貴子詩集『プリティーガール』 音谷健郎
夏当紀子『ゆれる、膨らむ』 佐久間慶子
中塚鞠子『「我を生まれ足乳根の母」物語』 三井喬子
高林正夫『異風の人——時代・歴史小説に描かれた盲人像』
日野範之
秋吉好『田中桐江—ある隠儒の生涯—』 室田卓雄
水島瞳『行って見て 聴いたことを …伝えたい』 音谷健郎

秀作の樹・個性の花
《エッセイ》

死への恐れと向き合う 松浦このみ
「ぞ なむ や か れんたいけい」 田中健一
母のお客さま 大川祐子
より善く生きるということ 山口真由子
《小説》
煉獄 直見優希
ウスバカゲロウにさようなら 前川珠紀
捨てる神あれば拾う神なし 総山正行
《読書ノート》
遠藤周作『コウリッジ館』 結城まり
《昼・文章講座 課題作品》
遺骨 朝倉圭子
手 結城まり
手 伊東里絵子
まほちゃん 二谷世津子
『序の舞』に寄せて 大瀬美和
たまごころころ 久瀬恭子
毛毛雨 (ルビ●マオマオユー) サラトがいずみ

■ 6月号 在校生作品特集号 (673)

詩
真綿でくるもうとする女 花咲日々来
弟よ 吉野麗
声 新居輝夫
その手 水方りな

エッセイ
G o T o ギンコー 小池Q

小説
イースト・エンドの夜想曲 葉留光斗
風吹きカリン 名倉弓子
かみなり様 甲木千絵
作州緋 三村晃
天罰 星野太郎
僕と多々見さんの進捗 兪カニ

表紙のことは 屹立する少女/葉留光斗
編集後記 上田雄己

■ 7月号 通信教育部作品集 (674)

□研究科/小説1組
静かなるやり直し 有本 友美
煩い風 衣奈 響子

□研究科/小説2組
うぬぼれ鏡 岡原 郁子
母の布団 内山 秀樹

□専科/小説1組
コロナ疎開 亀山 照美
ライオン先生 泉 一美

□専科/小説2組
さようなら 縣 ひとみ
仮縫い 佐伯 厚子

□専科/小説3組
花を喰う 中村 文香
サイダー 矢野美佐子
貴女に出会わなければ 天河 発

□本科/小説1組
酔橋旅行 柳 雪
天使になった黒ちゃん 本間花衣菜
アイドル・パニック (1) 生姜 塔子

□本科/小説2組
わずれもの、或いは失くしもの 北島 直美
人が死んだ夜 宮崎 新
切り花 泉 眞知子

□エッセイ・ノンフィクション
青谷先生 野崎 裕子
強い母に弱い私 伊神 寿乃
配達こぼれ話 瑞野 晴樹
ノンノ 四辻 貴子
私の挑戦 石橋 純代
東日本大震災被災から十年目の心緒 宮嶋 英子

□専科、研究科/詩・エッセイ

間違い 青木 啓子
ウサギ来た 小寺 俊江
雨の列車 野田ちひろ
嘘咲き山 野々 ゆか
公園 前田 渉
境界 藤原 功一
白い花 遠野魔ほろ
従妹のミユコさん 野原よう子
乳癌に罹りて思う 久崎 掬子

□本科、専科/詩・エッセイ
名まえ 田中 啓一
もう、いらん くらもちたからこ
春のにおい 正木ふゆみ
この指 水方 りな
涙の音 藤元美和子
さみしかったので 光 子
父が私に遺したもので 田中 敦子
忘却できない二月 吉岡 和子
桜島 福山 稜子
光 宮田さよ子
知ったつもり 河原万知子
土産石 大土 由美
フルーツサンドイッチの旅 山花 知子

■ 8・9月号 通信教育部作品集 (675)

□研究科/小説2組
五十年 山本ゆき子
主婦VS不良高校生 内田ゆうこ
相撲をとる卵 麦野 あき

□研究科/小説1組
しらすの目が怖い 中能 茜
ヒロセくんの魔球 総山 正行
響振 指尾 成俊

□専科/小説3組
七月十日に鳥なく 前川 珠紀
余韻 朝倉 圭子

□専科/小説2組
鈍行列車 岡山 さず
耳切れの雲一 尾畑 雁多

□専科/小説1組
雨あがり 坂本 幸子
ある人 華 早余
ふれる 溝口 明宏

□本科/小説2組
京都山科随心院 夢野 中也
夜這星 水上 直子
鳶の声 湯島 晴一

□本科/小説1組
矢部さんの誕生日 やしき灯子
やわらかな時間 仲谷奈津佐
湖底をめぐる景色 森山 桃花

□エッセイ・ノンフィクション
思いがけなく突然に 木村 暁
眠りん坊の胸の内 伊神 寿乃
こっから 入江 達宏
爪の思い出 小宗 明子
繋ぐ〜歩行訓練士になった女性 松浦このみ
羨望、トカゲの能力 八木 宇美

□専科、研究科/詩・エッセイ
夜明けを待って 遠野魔ほろ
こんには 野々 ゆか
けもの道 藤原 功一
オリーブの枝ゆれて 野田ちひろ
普請中 小寺 俊江
梅雨の朝 青木 啓子
校庭 前田 渉
従妹の一子さん 久崎 掬子

□本科、専科/詩・エッセイ
返す言葉 田中 啓一
思い出歩行 正木ふゆみ
踊り観音 大土 由美
ふたり くらもちたからこ
ええ時 光 子
残葉整理 水方 りな

先生の存在 藤元美和子
犬と散歩 中島奈生美
芭蕉 宮田さよ子
甘党の切り裂きジャック 山花 知子
第三惑星の蟻 田中 敦子
私の妹 河原万知子

■10月号 入学案内書 (676)

エッセイ 土産石 大土由美
在校生の声 峯本雅子/平良ななめ/正木邦彦/西村美春/中井豊
/生姜塔子/川端豊子
学生委員会の活動 上田雄己

■11月号 在校生作品特集号 (677)

詩
完熟トマト 泉真知子
本 くらもちたからこ
隣家 なかもりあつこ
ペガサスの翼をそっと差し交わすように 船曳秀隆

エッセイ
ミシンとわたし 森沙音

小説
うちゅうのくじら 高橋諒
雲のカロリー 藤本あずさ
再誕 シクラ奈津
サバイバーズ2020 野口ゆふ
地味にクズ 鶴鶴天
温もりに遺りて 上地庸子

表紙のことば 赤い道/佐藤剛外
編集後記 北上千集

■12月(秋期)号 本誌 (678)

第23回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・富岡悦子『反暴力考』
【特別賞】詩集・青木由弥子『しのばず』/颯木あやこ『名づけ得ぬ馬』
【特別奨励賞】詩評論書・九里順子『詩人・木下夕爾』
詩集選評・犬飼愛生/倉橋健一/坪内稔典/三井喬子
詩評論書選評・葉山郁生/細見和之/山田兼士
第23回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

詩+近況
つるんと雨、駅で、 川上明日夫
石蹴り 真銅 孝
画家の工程 高田文月
わい語のぬげがら 高橋達矢
めくじら 富上芳秀
海が遠い街で 中塚鞠子
椅子取りゲーム 細見和之
友よ 松本衆司
三途の壁 山田兼士

特別講座 小説の不思議 小川洋子 (聞き手) 葉山郁生

文章講座
古典は新しい(その10) シェイクスピア劇『ハムレット』——生か、
死か、それが問題だ 日野範之

書評

山田兼士『福永武彦の詩学』 西岡亜記
吉原維子詩集『一万回目のおはよう』 山本二郎
森口透『北オハイオの冷たい風』 佐保木流
津田真理子詩集『森のフクロウ』 中塚鞠子
結城まり『レモン色のワンピース』 日野範之
しんりん・ゆうはく『私の読書、わが歩み』 日野範之
芦原瑞祥『まほろばの鳥居をくぐる者は』 猿川西瓜
岩波ブックレット『消えたヤマと在日コリアン』 島すなみ

秀作の樹・個性の花
《小説》
海と空の距離 片岡美登里
「おはようございます。フィンセントさん」 北沢誠一郎
《昼・文章講座 課題作品》
ピンクムーンの日 秦 美也子
私の先生 久瀬恭子
ポケットの話 サラトがいづみ
どくだみの花ことば 朝倉圭子
指先 峯本雅子
朝が始まる 五島桜子
烏帽子岳 大瀬美和
燃える街 T T・まどか

【2022年】

■1月号 通信教育部作品集 (679)

□研究科/小説1組
野鯉 有本 友美
ギリリー・ホブキンズと物語 田中 芙未

□研究科/小説2組
歯の妖精 南水 梨絵
不可思議な音 内山 秀樹
枇杷の実 亀山 照美

□専科/小説1組
灰色の家 橋場 めん
肘を切る 泉 一美
敗戦まで 藤田 友房

□専科/小説2組
ときめき 西川 弘志
赤いチューリップ 坂本 幸子
一人じゃあないの 二人 猫田焚き火

□専科/小説3組
逆行から始まる狂騒曲 三宅 羊一
鯉 矢野美佐子
月と毒薬 中村 文香

□本科/小説1組
雪の墓標 峯本 雅子
ほんと、馬鹿だよ 石丸 明
銀の糸 松宮百合子
ババたちのルール 外山記代子

□本科/小説2組
白い夏 北島 未菜
冷凍保存 三木 虹コ
やおんぎ 泉 真知子
やまもも 宮崎 新

□エッセイ・ノンフィクション
新しい時間 井上 浩一
未来の君へ捧げる言葉 木 蓮
骨折 北アルプスにて 呉田 軽徳
あの青い風船 檀允 心実
地続きの今日 ~東京大空襲の地で~ 由里 容子
わが老いと病の記 野崎 裕子

□専科、研究科/詩・エッセイ
花の絵 野々 ゆか
コスモスの野に 今井 清博
義母のさよなら 野田ちひろ
私の手 前田 渉
風船かざら 遠野魔ほろ
母さんの弁当がら 小寺 俊江
五つ葉のクローバー 久崎 掬子
投げかけられた一言 野原よう子

□本科、専科/詩・エッセイ
在宅ケア初日 水方 りな
時が止まって 田中 啓一
チェルノブイリのひよこ 大土 由美
地球 くらもちたからこ
遺言 正木ふゆみ
魔の海 指尾 成俊
雨の日の・・・ 吉岡 和子
蠟燭 藤元美和子
虹と人生 田中 敦子
終わりと始まり 池田 りら

戦後子供だった頃 田原 久子

■ 2・3月号 通信教育部作品集 (680)

- 研究科/小説2組
 - 命あつての物種 麦野 あき
 - 痛い地図 瀧川さより
 - 失われたもの 内田ゆうこ
- 研究科/小説1組
 - 若手社員に企業メイドなパーソナルプランを
文 山崎 義
 - MONTBLANC 溝口 明宏
- 専科/小説3組
 - 断線 荒木 賢介
 - 石に咲く花 三村 晃
 - 難波渦の滯標 中村 文香
- 専科/小説2組
 - ハッソウイチバへようこそ デイネイ
 - 標なき道 秦 美也子
- 専科/小説1組
 - 物語の終わりに 岡原 郁子
 - 彼岸列車 佐々木紫織
- 本科/小説2組
 - 訪問者 内田 翔太
 - 硝子戸の向こう側 紅林 知里
 - サイレント・バケーション 眞山 大知
 - 渡船場で 松浦 幸恵
- 本科/小説1組
 - 隣のひと 田島 紗月
 - ルビコン川 大山 秋象
 - 素敵な花を咲かせましょう 宮田 一
 - 暑中見舞い 永井 敏江
- エッセイ・ノンフィクション
 - 我が道を突き進め! 木 蓮
 - 難民支援を考える 由里 容子
 - 「過去」を旅する——系譜と歴史—— 野崎 裕子
 - そして、誰もいなくなったら 小宗 明子
 - 母娘(おやこ)暮らしのミッション 山名 萌絵
- 専科、研究科/詩・エッセイ
 - 恵み 藤原 功一
 - 誰もいない部屋 遠野魔ほろ
 - 夜明け 前田 渉
 - 森でお茶をいただく 野田ちひろ
 - ふるさとのない君に 今井 清博
 - ビデオ通話/「空耳」体験2 小寺 俊江
 - ポンポロ 野々 ゆか
 - のぼん と暮らす 野原よう子
 - 金木犀 久崎 掬子
- 本科、専科/詩・エッセイ
 - 山姥賛歌 大土 由美
 - セーター後ろ前 田中 啓一
 - 冬にあなたをまとう 水方 りな
 - 九州 くらもちたからこ
 - 老いる自覚 正木ふゆみ
 - 残されるものへ 光 子
 - どよよんの朝 田中 敦子
 - 知らない体験 藤元美和子
 - 妻は知らない 指尾 成俊
 - 喫茶店のマスター 池田 りら
 - 善光寺ご開帳の年 田原 久子

■ 4月号 入学案内書 (681)

エッセイ 鯉になった父 石橋純代
 在校生の声 石井里津子/石丸明/澤田尚子/外山記代子/小野敦子/青木大地/名倉弓子
 学生委員会の活動 上田雄己

■ 5月(春期)号 本誌 (682)

第42回大阪文学学校賞発表
 【選評】津木林 洋/平野千景/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音谷健郎

- 〈小説部門〉受賞作品…「サバイバーズ2020」野口ゆふ
- 〈詩部門〉受賞作品…「隣家」なかもりあつこ

【佳作】「ちゃぶ台」白川香
 【奨励賞】「くるまれて」水田賢一
 ●〈エッセイ・評論・ノンフィクション部門〉該当作なし

フロイトの《家族小説》を巡って

小説
 I F 島田奈穂子
 ゴミの塔 田中さるまる
 霧の街 大水 青
 滝の子 高 琢 基

特別講座 対談・情熱と客観性
 三浦しをん vs 葉山郁生

追悼
 私のよき導き手だった高島寛さん 奥野忠昭
 —鏗雅代さん追悼— 木辺先生のご命日の朝に 瀬戸みゆう

文章講座 古典は新しい(その11)
 名作古典こそ読もう
 ——二十世紀世界文学と日本の戦後文学 日野範之

リレーエッセイ
 私が出会った大阪文学学校 ⑬
 私の人生を豊かにしてくれた、とても大切な学校 森口 透

書評
 稲葉祥子『あやとり巨人旅行記』 平野千景
 富上芳秀詩集『言葉遊びの猟場』 南原充士
 細見和之 山田兼士『対論Ⅲ この詩集を読み 2016~2020』 寺田 操
 米津優喜子『詩集・洗濯せつちゃん——介護・母と歩む』『随筆と詩・九十九折の向こうから』 海野あかり
 方 政雄『白い木槿』 伊藤 宏
 川上明日夫『旅・一杯のコーヒーから』 万年青 一

秀作の樹・個性の花
 小説
 おやすみなさい、いい夢見てね 市川桜子
 揺れた! 菱田律子
 うすれてゆく 総山正行
 今夜、バスに乗って 縣ひとみ
 《昼・文章講座 課題作品》
 二谷世津子 石井里津子 逢坂彩 大土由美 峯本雅子 秦美也子
 眞鍋ちひろ かじおかあん子 朝倉圭子 恵来杏 中能茜

■ 6月号 在校生作品集特集号 (683)

詩
 墮胎 藤井杏奈
 何人住んでる? 誰が住んでる? 荻野真理子
 心臓 水田賢一
 山道のできごと 植田守彦
 剥き出しの 都圭晴

エッセイ
 食の賄い 一御同輩、出番ですよー 木村暁

小説
 愛だの恋だの 筒井透子
 英雄前夜 ハイ・エンタ
 少し休めば、それで ヨム
 ル・フルーヴ館によるこそ 名倉弓子
 光の布 田中英未

表紙のことば 希望/谷河良
 編集後記 上田雄己

■ 7月号 通信教育部作品集 (684)

- 研究科/小説1組
 - 戸籍の中の間ドラマ 内山 秀樹
 - 穴掘る人 芳野さらさ
 - 敬老ナビ 土井カツオン

- 研究科/小説2組
魔法瓶と彼女 橋場 めん
今日も僕は学校に行く 村上 美鈴
紙ひとえ 亀山 照美
- 専科/小説1組
戦のあと 泉 一美
父の記憶 おなほひろこ
失恋志願 永井 敏江
夏みかん 生姜 塔子
才能とあのう衆 下里 厚子
- 専科/小説2組
きまりのようなもの 衣奈 響子
しあわせ探し 藤田 新吾
だから。 湯島 晴一
- 専科/小説3組
戦争に負けて。それから。 藤田 友房
ホーム 松浦 幸恵
- 本科/小説1組
風の中の朱 西田紗侖子
夜になれない僕たちは 松山かれん
- 本科/小説2組
しろいさくら 森田 純
蜜の味 紅林 知里
黄昏の森 高岡隆一郎
ブログ echelon
- 専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション
祭りのあと 入江 達宏
白馬に乗った王子様 木村 暁
母になる娘に 小宗 明子
朗読という美について① 松浦このみ
評伝 伊藤野枝 ～嵐のように生きて～ (三) 堀 和
- 本科、専科/エッセイ・ノンフィクション
捨てられる猫たち 織田 万里
禍福は糾えるマクラメの如し サラトがいずみ
「書く」ということ 松平 陽子
グルテンフリーのちくわぶ 梅 澤
- 専科、研究科/詩・エッセイ
B I T E よこむつみ
陽だまりの部屋 野々 ゆか
青い、空 野田ちひろ
好きな時間 前田 涉
一升瓶に水を入れて 野原よう子
すずらん 久崎 掬子
- 本科、専科/詩・エッセイ
愛の挨拶 田中 啓一
今夜もさまよい歩き 水方 りな
活字 光 子
墓参り 大土 由美
雨と父 藤元美和子
教育入院 田中 敦子
十五年 指尾 成俊
響命の座標点 新田 朗
来年の今日 久楽 夏櫻
あなたへ 中馬 荘太
故郷 後藤佳奈子
八月の空思っきり蹴飛ばして 宮城タカヒロ
村においでなさい 正木ふゆみ
愛犬たちの思い出のエピソード 田原 久子

■8・9月号 通信教育部作品集 (685)

- 研究科/小説2組
空に舞う 内田ゆうこ
ハル子さんの日常 橋場 めん
じいちゃんの自慢話 山下 恭
- 研究科/小説1組
終点少し前 芳野さらさ
豆 浜崎 壬午
サインペン 神郷 愛光
- 専科/小説3組
僕の長い一日 平川 太郎
逃亡者 三村 晃
バス停 矢野美佐子
- 専科/小説2組

- 遠い入道雲 佐伯 厚子
あなたは どうして、ここにいますの? 森上 晶
- 専科/小説1組
二十年前 泉 眞知子
パノプティコン 眞山 大知
僕らは知っている 本間花衣菜
秋子の大学受験 水島 瞳
- 本科/小説2組
完全なかたち 森田 純
ある囚人への手紙 高坂 順子
綿入れさん 藤岡 真衣
教室の隅で 湯谷 大志
- 本科/小説1組
剥き出し 鷺町 一平
あの日・記憶のかけら 濱田 恭徳
落ちてみる 三日月み門里
- 専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション
父の背中 石橋 純代
新しい仕事 河井 恵次
変な自販機発見 小池 Q
中国旅行の顛末 二谷世津子
「書く」一念を貫いた女性・吉野せい 宮嶋 英子
大正区へ——みるく世、今は平和ですか 山名 萌絵
- 本科、専科/エッセイ・ノンフィクション
春に想うこと 中村優美子
受動態と能動態 松平 陽子
痩せる想い —新型コロナワクチン集団接種予診の日々— 織田 万里
鞆の浦 伊東 和子
雨の日も、晴れの日も、いい天気 がんとともに生きる 菜 摘
- 柑
- 専科、研究科/詩・エッセイ
すずらんには毒がある 久崎 掬子
さまよい 藤原 功一
蔓よ蔓よ蔓よ 野田ちひろ
あかるいくらし 野々 ゆか
二匹 前田 涉
猪突猛進の人と 野原よう子
台風 よこむつみ
- 本科、専科/詩・エッセイ
命と引き換え 田中 敦子
一寸法師になって 水方 りな
母の手 指尾 成俊
六月のダイアリー 光 子
ガーデンパーティー 正木ふゆみ
「お母さん、ウンコしたい」 田中 啓一
ニューヨークから吹く風 久楽 夏櫻
八月ジャーナリズム 大土 由美
宇宙に向かって 後藤佳奈子
一人 藤元美和子
天使たちは何処へ 田原 久子
恋 宮城タカヒロ

■10月号 入学案内書 (686)

- 短編小説 穴掘る人 芳野さらさ
在校生の声 房野若菜/西田佐代子/永長景虎/高岡隆一郎/田島
紗月/松浦このみ
学生委員会の活動 谷良一

■11月号 在校生作品集 (687)

- 詩
コリアンタウンランチ 石井里津子
無償の愛 ヴェナート
球体の夢に 都圭晴
朝 食う 水田賢一
凍りついた琥珀 サラトがいずみ
- エッセイ
六月のお通夜 浅井歌音
- 小説
マリーのウィッグ 森田晏史
えんじゅの庭 海辺こゆび

弓弦をやしなう シクラ奈津
バイクと鈴音 前田寛昭
波の鼓動 峯本雅子
かわりばんこの おあいこ 衿さやか

表紙のことば 窓辺/ニシオアイ
編集後記 上田雄己

■ 12月(秋期)号 本誌 (688)

第24回小野十三郎賞 発表

【受賞】詩集・新井啓子『さざえ尻まで』

【特別奨励賞】詩評論書・宮内喜美子『わたしたちのたいせつなあの

島へ—菅原克己からの宿題—』

詩集選評・犬飼愛生/坪内稔典/三井喬子

詩評論書選評・葉山郁生/細見和之/山田兼士

第24回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

詩+近況

墓終いのそして、俄 川上明日夫

六月の石 真銅 孝

「不在」という存在の絵 高田文月

夏の墓 高橋達矢

ナメクジ遊び 富上芳秀

時 中塚鞠子

クリーニング屋 細見和之

朝の綺麗たち 松本衆司

インフルエンザ・ポンプ 山田兼士

特別講座

触れる、読む、書く

堀江敏幸

高島寛追悼特集 作家・作品論、思い出、(書評)再掲

(作家・作品論)

高島寛氏の恋愛小説を読む —「夏の名残りの薔薇」を中心に
奥野忠昭

会社と文学 二本立ての人生 福本武久

空の蒼、海の蒼 佐伯 晋

高島文学の文体と書法 葉山郁生

自分のために書き続けた生涯 細見和之

高島寛評論の力 —「漱石『満韓ところどころ』を読む」の提起
日野範之

(思い出)

破軍星 木村誠子

高島寛さんと同人誌「空とぶ鯨」 登 芳久

エコー読書会で味わった世界の文学 平野千景

第一土曜日の午後 —エコー読書会のことなど— 三原后代

いつも先導者だった高島さん 飯塚輝一

高島寛—大阪文学学校チューター五十年/大阪文学協会代表理事
二十二年 小原政幸

(書評)

『蒼空との契約』奥野忠昭/『春嵐』飯塚輝一/『しなやかな闇』岡
保夫/『紅い螢』小西九嶺/『コンドルは飛んで行く』佐伯 晋/『溪
流のヴィーナス』安芸宏子

【高島寛・年譜】

文章講座 古典は新しい(その12)

遊びをせんとや生れけむ

—名作演劇を観よう 日野範之

リレーエッセイ

私が出会った大阪文学学校 ⑭

アウェーからホームの門へ 美月麻希

書評

種村宏詩集『命のカレンダー』 山上直樹

阪井達生『家族の居場所』 南条ひろし

坂之上千代『水の檻』 日野範之

加藤清三郎・第一文集『返り梅雨』 高田 円

ひとみ・けいこ『パレエ曼荼羅』 大瀬美和

秀作の樹・個性の花

《詩》

木洩れ日・八月 田中健一

だらだらと 山上直樹

詩 二篇 山本瑛子

伝播 久楽夏櫻

南米旅行 前田 渉

《エッセイ》

且過市場の火災 大土由美

《小説》

レギーナさんの仄暗い図書室 葉月乃蓉果

サイダー 矢野美佐子

『傘がない』のあの頃 川崎 眞

【昼・文章講座 課題作品】

呉田軽徳 伊東和子 岸本多賀子

石井里津子 二谷世津子 大土由美

北川敏子 サラトがいずみ 秦美也子

生平楓子 眞鍋ちひろ

【2023年】

■ 1月号 通信教育部作品集 (689)

□ 研究科/小説1組

恨みの矢 内山 秀樹

人生というゲーム 土井カツオン

わらび餅 藤原 修

□ 研究科/小説2組

こいのぼり 麦野 あき

狐が笑う 次 祥子

□ 専科/小説1組

どうしてわたしの思い通りにならないんだよ 眞山 大知

霧の中 永井 敏江

受容の先にあるもの 泉 眞知子

□ 専科/小説2組

正月にシャカシャカ、ホットケーキに餅 縣 ひとみ

響 岩下ハヤブサ

おばあさんが産んだ赤ん坊 佐藤 剛外

□ 専科/小説3組

銀作の耳 藤田 友房

風呂物語 清原ふみ子

□ 本科/小説1組

腹痛なんて嫌い 木村 葉子

ゼロマイナススイッチ 松山かれん

おかしな私たち 西田紗侑子

□ 本科/小説2組

競争 藤茂 周

雪の精 高坂 順子

ウエとシタ 湯船 直美

□ 本科/小説3組

十五夜で 木村きみ子

ただの傘じゃない 中尾 俊介

夏のお嬢さま 藤咲 愛

□ 専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション

真夏の襷リレー 入江 達宏

貞半の夏 井上 浩一

持ってる女 小宗 明子

過ぎたるは…… 延川 笙子

朗読① ~それは自分の可能性を引き出してくれるもの 松浦このみ

評伝 伊藤野枝 ~嵐のように生きて~ (第五章 二人の革命家)
堀 和恵

□ 本科、専科/エッセイ・ノンフィクション

Aさんのいた場所 森川 和

夏の終わりに 伊東 和子

雨の日も、晴れの日も がんばるとともに生きる 二 菜 摘柑

森鷗外と菓屋の瓜生 織田 万里

七週目のボヤキ サラトがいずみ

敬語考 梅 澤

□ 専科、研究科/詩・エッセイ

気になるヨシコさん 野原よう子

親衛隊 光 子

あの猫はどこに行った? 前田 渉

夜の詩II よこむつみ

主人の去った部屋で 野田ちひろ

自死考 藤原 功一
 しばらく 野々 ゆか
 和泉式部 久崎 掬子
 □本科/詩・エッセイ
 白百合色の墓標 琴森 戀
 『それ』と私 田中 敦子
 最後の誕生日プレゼント 田中 啓一
 梅田IN地下鉄 大土 由美
 沈黙 藤元美和子
 囚人 山本 純
 彼岸会 西田 牧子
 タイムトリップ 久楽 夏櫻
 波間に消えた思い 後藤佳奈子
 赤とんぼ(1) 正木ふゆみ
 バベルの塔 中本 祐子
 551 中馬 荘太
 今夜もまた夜空がわたしを襲いにくる 宮城タカヒロ
 わたしの中に滴るもの 平 かよ
 蜘蛛 南野 ふみ

■2・3月号 通信教育部作品集 (690)

□研究科/小説2組
 くら 亀山 照美
 沼池が隠すもの 佐々木紫織
 みんなの収穫祭 橋場 めん
 □研究科/小説1組
 赤い掌 内田 るみ
 アテンション・シーカー 中能 茜
 STATION 溝口 明宏
 □専科/小説3組
 夢 松浦 幸恵
 春彼岸 松宮百合子
 嵐のあとに 木津川伊吹
 □専科/小説2組
 まぼろし 井山 卓
 スーパー×スーパー 石丸 明
 □専科/小説1組
 唐舟 下里 厚子
 □本科/小説3組
 母の事、私の事 高橋 雪子
 イヤなやつ 中尾 俊介
 カミナリのごろ太 小寺 恒雄
 □本科/小説2組
 花麒麟の骨 森田 純
 グロ味フラベチーノ 湯谷 大志
 □本科/小説1組
 どマスク 鷺町 一平
 屋根裏部屋の玉手箱(二) よしだひかる
 □専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション
 変なシャッター発見 小池 Q
 RUN—自分への挑戦 石橋 純代
 庭師の責任について 河井 恵次
 スーパーじじばば 二谷世津子
 揖保川と思い出 木村 暁
 福島県への愛郷心 宮嶋 英子
 □本科、専科/エッセイ・ノンフィクション
 合奏と気配 松平 陽子
 友と集う 伊東 和子
 全壊家屋 織田 万里
 雨の日も、晴れの日も ざんとともに生きる 三 菜 摘
 柑
 仮想現実と乳酸菌 梅 澤
 □専科、研究科/詩・エッセイ
 真っ赤なランチ 前田 涉
 あぶくの洗濯 野々 ゆか
 残渣 藤原 功一
 あるかもしれない 野田ちひろ
 井戸端 阪井 達生
 ボディブロー 光 子
 嫌われアリのはなし 依岡 成実
 叔父さんの贈り物 野原よう子
 初詣での私の決心 掬 泉
 □本科/詩・エッセイ
 入れ歯入れ 田中 啓一

母の手 中本 祐子
 職務放棄 琴森 戀
 ピンチ作品 田中 敦子
 名前 平 かよ
 待ち人 西田 牧子
 修羅 藤元美和子
 大地を踏みしめて 後藤佳奈子
 うつくしい旅 大土 由美
 クリスマスライブ 久楽 夏櫻
 大人の遊び 中馬 荘太
 #愛してる 宮城タカヒロ

■4月号 入学案内書 (691)

エッセイ 合奏と気配 松平陽子
 在校生の声 H100/福迫泰平/佐々井サイジ/井上/平かよ/
 よしだひかる/永井敏江/森田晏史
 学生委員会の活動 谷良一

■5月(春期)号 本誌 (692)

第43回大阪文学学校賞発表
 【選評】津木林 洋/平野千景/細見和之/中塚鞠子/葉山郁生/音谷健郎
 ●(小説部門)受賞作品…「光の布」田中英未
 ●(詩部門)受賞作品…「凍りついた琥珀」サラトがいずみ
 【佳作】「枇杷の実」山本瑛子
 【奨励賞】「金髪ライオン」国津洋子
 ●(エッセイ・評論・ノンフィクション部門)受賞作品…「エノコログサ」呉田軽徳

詩 詩二篇 金 時 鐘

垣根を越えて
 小説
 アノニマス バット ウィー アー リアル キン ミカ
 はぐれて 中山文子
 仕合せの手触り 夏岡博司

評論
 現代の古典『朗読者』B・シュリンク 伊藤 宏

追悼
 山田兼士さんを悼む 細見和之

文章講座 古典は新しい(その13) 美はしきもの見し人は——名
 作映画を観よう 日野範之

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ⑮ 旅にしあれば・私
 の不易流行 川上明日夫

書評
 松本衆司詩集『破れ』 中塚鞠子
 たなかよしゆき詩集『コツンカツン』 平野千景
 国方 勲『杓がいた町』 音谷健郎
 河原美津子『ひとつになる』 音谷健郎
 平居 謙『短詩系文藝四重奏BOMB!!!』 川鍋さく
 瀬戸みゆう『周防大島の青い海』 夏当紀子
 長瀬春代『シンデレラの母』 山本佳子
 桐原肇『街道歩き4000km』 疋田珠子
 竹内紘子『天使の歌声』徳島少年少女合唱団ものがたり 日野範之
 高林正夫『ブラインドロッドの旅』 日野範之

秀作の樹・個性の花
 《詩》
 復活 中本祐子
 《小説》
 カツ井範困 岡本直茂
 ダルマさん転んだ 泉 一美
 独り居の暮らし 井川真澄
 《昼・文章講座 課題作品》
 母の手 恵 来杏
 母の手 峯本雅子
 母の手 伊東和子
 母のマフラー 楠 友郁子

空から 野々ゆか
成子さんの黒豆 大瀬美和
父の遺した椅子 松岡 勲
マシュマロの頬 眞鍋ちひろ
虚空に 藤原功一
沖縄とコンビーフ 大土由美
五歳の大阪大空襲 尾上紀美代
もう戦いは嫌だ かじおか あん子
馬柵棒と鬼百合 石井里津子

■ 6月号 在校生作品集号 (693)

詩
淀川 谷町蛸
こぼれおちるもの 森岡大
小さきものの営み 平かよ

エッセイ
父を想う 石橋純代

小説
全てが三つある！ 鷲町一平
支え 上地庸子
ラベンダー色のランドセル 村上美鈴
初夏の薄片 峰さそり
アンバランス 名倉弓子
アジサイの花を流す 安西美千代

表紙のことば 雨だれ/名倉弓子
編集後記 渡邊佳耶

■ 7月号 通信教育部作品集 (694)

□研究科/小説1組
橋の上のガーベラ 田中 信子
カモノハシの不思議さと、息子が商売熱心でない訳 土井カツ
オン
チェンジ・ザ・ワールド 指尾 成俊

□研究科/小説2組
亀のゆくえ 峯本つづき
ミミちゃん 橋場 めん
梨の花散る季節に 杉原多江子

□専科/小説1組
チューリップの赤い色 外山記代子
新米トレーナー 河内洋子 本間花衣菜
病室社会 水島 瞳

□専科/小説2組
伝える 花村 未央
桜闇 秦 美也子
雲の行方 佐伯 厚子

□専科/小説3組
背戸の侘助 三村 晃
のり子とかくれキリシタン 矢野美佐子

□本科/小説1組
瓶 西田紗ゆ子
ほうせんかのこぼれ種 日高 朱理
遅れた時計 森 昌之

□本科/小説2組
鯨 野村 真吾
逃げる男 羽立まどか

□本科/小説3組
泣けないアタンと笑えないアイツ 安達美千子
マリオネットはシュールデイ 木村きみ子
さ・く・ら 藤咲 愛

□専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション
差別者としての池田小事件・宅間守 光葉 啓一
逃げるは恥だが役に立つのか 入江 達宏
いま、学校で とき 和
ある日のヤモリ 小宗 明子
評伝 森崎和江 堀 和恵
物語の朗読～架空の対話が織りなす魅力 松浦このみ

□本科、専科/エッセイ・ノンフィクション
繁昌亭で笑って想う 伊東 和子
梅を味わう 草木 恵
無機質を切り取る 財部 香織

家庭菜園歳時記 織田 万里
「骨折 北アルプスにて」その後 呉田 軽穂
物忘れ、そして感謝 松平 陽子
□専科、研究科/詩・エッセイ
新家ビューティー 射手 誰子
滑落 藤原 功一
会いたい 野田ちひろ
遊びションガナー 琴森 戀
占いの館 前田 渉
入院 大土 由美
古井戸 阪井 達生
いいねえ 光 子
亀太郎伯父さんと「暁の宇宙」 野原よう子
悲しい木曜日 たてかわともこ

□本科/詩・エッセイ
自死者のあった日 田中 啓一
レールマウンテンバイク 西田 牧子
太っちょオンナの高笑い 寺本 健三
ゆらぐ 至 足
桜咲く 久楽 夏櫻
落ちた 平 かよ
マスクをはずして 伊勢さきゑ
たけのこ味噌汁 石川佳弥子
銀波 宇野有輝恵

■ 8・9月号 通信教育部作品集 (695)

□研究科/小説2組 (若林クラス)
さくら涙 生姜 塔子
祭り 次 祥子
コンベイトー 亀山 照美

□研究科/小説1組 (石村クラス)
今川鍼灸施術所 内田 るみ
風音 芳野さらさ
好日丸、沖へ 堀尾 俊

□専科/小説3組 (高橋クラス)
七十歳の大きな壁 内山 秀樹
ロマンスの神様 岩下ハヤブサ

□専科/小説2組 (飯田クラス)
猫ばあちゃん 坂本 雨季
背中 石丸 明

□専科/小説1組 (大沢クラス)
減量なる日々 泉 眞知子
ラストチャンス 鶴川 澄弘
たん瘤 藤茂 周

□本科/小説3組 (谷口クラス)
どーも、メンヘラです ころり
十一月のバラ 加藤 三冬

□本科/小説2組 (塚田クラス)
雨 山神 照代
なんと申しましょうか 沖 島助

□本科/小説1組 (美月クラス)
蜂谷の花 大庭 雅子
自己陶醉 佐々井サイジ

□専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション (音谷クラス)
恩師 石橋 純代
変な線路に乗って来ました 小池 Q
平等の行方 新居 輝夫
九十歳で叶えた夢 二谷世津子
文学への挑戦 宮嶋 英子
賽は投げられた 山名 萌絵

□本科、専科/エッセイ・ノンフィクション (菅野クラス)
少年使節団 来島 恵 博子
真夜中の小児病棟で 織田 万里
おみくじ 菜摘 柑
馬見丘陵公園の四月 草木 恵
ピアノとエッセイ 広瀬 朋美
「骨折 北アルプスにて」その後 ——怪我と感染を経て——
呉田 軽穂

□専科、研究科/詩・エッセイ (平居クラス)
この街は 前田 渉
残夏 藤原 功一
月光仮面がやってくる 阪井 達生
返信 野田ちひろ
わたし 光 子

野っばらに おく 野原よう子
初めての句会 大土 由美
新聞小説、『メタボラ』 たてかわともこ
「蜜柑」についての考察 琴森 戀
□本科/詩・エッセイ (富上クラス)
枇杷 西田 牧子
枇杷の実への思惑 伊勢さきゑ
忘れられない言葉 久楽 夏櫻
軍艦アパート 谷町 蛞蝓
運命の鬼 寺本 健三
ただの砂ころ 平 かよ
ripple 宇野有輝恵
君のこと守るから 戸田よね子
あからとおかき 田中 啓一
『地球文明展』 南野 ふみ
十三週目 至 足
花桃の道と鯛の塩焼き 石川佳弥子

■ 10月号 入学案内書 (696)

短編小説 サイダー 矢野美佐子
在校生の声 五十嵐ゆうき/越村舜/平田/太田多恵子/西垣光希
/吉村和加/浅地敏/渡邊佳耶
学生委員会の活動 谷良一

■ 11月号 在校生作品特集号 (697)

詩
ある父子 谷町蛞蝓
七夕の願い 荻野真理子
ここは大阪 都圭晴
空洞の主張 瀧川さより
わたしか、りずむか、むずかしさか 田辺敦史

エッセイ

やっと出番が来た、牧野富太郎 吉野麗
鴨が葱しょってパリに行く 小宗明子

小説

黄昏れてコミュニケーション 竹田多恵子
夫らしきもの 大庭雅子
ウンチョル先生 康玲子
ゆさぶられる季節へ シクラ奈津
クロージングタイム H100
三月の風 藤野まーりん

表紙のことば 花とムク/あおきむつこ

編集後記 林隆司

■ 12月(秋期)号 本誌 (698)

第25回小野十三郎賞 発表
【受賞】詩集・江口節『水差しの水』
【特別奨励賞】詩評論書・青木由弥子『伊東静雄一戦時下の抒情』
詩集選評・犬飼愛生/坪内稔典/細見和之/三井喬子
詩評論書選評・添田 馨/富上芳秀/葉山郁生
第25回小野十三郎賞 最終候補一覧『詩集』『詩評論書』

詩+近況

迷子になって 加納由将
紅葉に、紙魚で 川上明日夫
トマスのためのレクイエム 真銅 孝
秋田県 手這坂集落 高田文月
水を撒く 高橋達矢
ランプの精の魔力 富上芳秀
人間到る処青山あり 中塚鞠子
ナイトラン 平居 謙
運転免許取得者 細見和之
哲学する犬 松本衆司

特別講座 対談・日常=世界を書くこと 小山田浩子×葉山郁生

評論

「詩人」として死なせてもらいたい——尾崎放哉にとって「詩」とは

何か—— 松本衆司

エッセイ

マズルカに潜む砲声 菅野美智子

追悼 佐々木鈴

死んじやって、「しょうもねえな。」 小原政幸
佐々木鈴さんの作品世界を探る 平野千景

リレーエッセイ 私が出会った大阪文学学校 ⑩ 愛しさを込めて
夏当紀子

文章講座 古典は新しい(その14) 表現方法の開拓——二十世紀
文学の面白さ 日野範之

書評

朽葉充詩集『聖域(ルビ●サンクチュアリ)』 富上芳秀
金由汀『サーチャマー三姉妹』 日野範之
月林真音『刻まれた時』 石井里津子
見峠りつこ&佐藤律子『ゲーテの白い夏』 森實啓子

秀作の樹・個性の花

《詩》
日根野のイチロー 射手誰子
《小説》
祖父が死んだ日らへんのはなし 松原青蛾
ブラッチックのワイングラス 城 竜二
片耳マスク 森岡 大
由美ちゃんの絵 康 玲子

【2024年】

■ 1月号 通信教育部作品集 (699)

□研究科/小説1組(石村クラス)
花子という人形 内田 るみ
遺品 土井カツオン
K 浜崎 壬午
□研究科/小説2組(若林クラス)
ピンク・フォレスト 小夏 妙
エンゼルフィッシュの森 麦野 あき
あの夏 和泉と夫と 金沢にて 杉原多江子
□専科/小説1組(大沢クラス)
鈴に乗せて 木村 士織
声 おはなひろこ
水たまり 森田 純
□専科/小説2組(飯田クラス)
七十七万の物語 鷺町 一平
季節外れの彼岸花 汀 千珠
□専科/小説3組(高橋クラス)
羅宇屋の娘 三村 晃
□本科/小説1組(美月クラス)
粉雪 ショコラ愛子
誰のものでもないこども 大庭 雅子
□本科/小説2組(塚田クラス)
壊れゆく水車 藤岡 真衣
山桃の実のなる頃に 石川佳弥子
白い羽 野村 真吾
□本科/小説3組(谷口クラス)
壺 木村きみ子
サラと蝶 磯崎 寛也
□専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション(音谷クラス)
くすんだ世界 泉 一美
濟州島での約束 井上 浩一
サンドバッグ 入江 達宏
帰省 大瀬 美和
評伝 森崎和江 堀 和恵
八十三歳の洋服販売員 松浦このみ
人は死ぬ 光葉 啓一
□本科、専科/エッセイ・ノンフィクション(菅野クラス)
桂米朝と私 伊東 和子
猫のしっぽ通信① ——こちら犬猫病院待合室—— 織田 万里
居場所ということ 松平 陽子

奄美ルネッサンス 惠 博子
 ピアノを続けたい 広瀬 朋美
 アメジストに寄す 阿部 慈子

□専科、研究科/詩・エッセイ (平居クラス)
 チキンカレー W M
 とりあえず 大土 由美
 傘なんていらぬ 野田ちひろ
 予兆 谷町 蛞蝓
 黙 藤原 功一
 戦争を生き抜いて 藤元美和子
 山羊と月下美人 琴森 戀
 ホームホスピスで 光 子
 新聞小説、『朝のガスパール』 たてかわともこ
 時の流れ (トミさんと亀太郎さんと) 野原よう子
 和泉式部 久崎 掬子

□本科/詩・エッセイ (富上クラス)
 閑院 西田 牧子
 嘘 伊勢さきゑ
 リムジンバスのおじさん 久楽 夏櫻
 イソヒヨドリ 寺本 健三
 魔法のあめ玉 戸田よね子
 父母の死 高岡 明子

ある定食屋にて W M
 ぐにゃぐにゃ 阿部津々子
 三浦綾子さんの葉書 琴森 戀

□本科/詩・エッセイ (富上クラス)
 誕生の日 西田 牧子
 黄金色の老後 伊勢さきゑ
 イドの館 寺本 健三
 はじめての富士登山 戸田よね子
 犬殺し 高岡 明子

■4月号 入学案内書 (701)

短編小説 水たまり 森田純
 在校生の声 緑北洋/池永修治/小池和代/古松恵子/塩崎拓/和田幸世/阿部慈子
 学生委員会の活動 谷良一

■2・3月号 通信教育部作品集 (700)

□研究科/小説2組 (若林クラス)
 ふたりのダイアログ 小夏 妙
 誘う神社 佐々木紫織
 猫奇譚 生姜 塔子

□研究科/小説1組 (石村クラス)
 流星が消えた森の中 芳野さらさ
 髪 藤原 修
 百円玉 白川 計子

□専科/小説3組 (高橋クラス)
 おじいさん 矢野美佐子
 裏方 内山 秀樹
 幼なじみ 藤田 友房

□専科/小説2組 (飯田クラス)
 卵焼き婆 坂本 雨季
 彼女の話 峰 さそり
 転落 秦 美也子
 熟女豆 佐伯 厚子

□専科/小説1組 (大沢クラス)
 かさぶた 森田 純
 遠い夏の底から 高岡隆一郎

□本科/小説3組 (谷口クラス)
 お先に失礼します こ る り
 優しく微笑んで 白雪 美優

□本科/小説2組 (塚田クラス)
 ハエ 山神 照代
 あなたへの手紙 羽立まどか

□本科/小説1組 (美月クラス)
 ふたりのワンピース 富久保敦子
 あなたの大切なもの 弥生ともみ

□専科、研究科/エッセイ・ノンフィクション (音谷クラス)
 息子の巣立ち 石橋 純代
 ムジナ峡のお婆たち 八木 宇美
 余計なお世話 河井 恵次
 大変な会社を作りました。 小池 Q
 母の通学風景と世津子の疎開 二谷世津子
 草分けの女性新聞記者 磯村春子 宮嶋 英子
 ガザの子どもたちへ 思いを馳せる 山名 萌絵

□本科、専科/エッセイ・ノンフィクション (菅野クラス)
 骨折顛末記 菜摘 柑
 水に流せぬ話 泉 一美
 〈干刈あがた〉に会いたい その(一) 惠 博子
 墓地奇譚 織田 万里
 漫才 古松 恵子
 天明同心 女たちの仙台藩政記 阿部 慈子

□専科、研究科/詩・エッセイ (平居クラス)
 今朝の夢 大土 由美
 ある豚の死 谷町 蛞蝓
 孤独 光 子
 午前七時の対話 野田ちひろ
 弟よ 藤元美和子